



社会福祉法人
あおば厚生福祉会
Aoba Welfare

令和5年度事業報告書

目 次

介護事業部事業報告

【特別養護老人ホーム 茂庭台あおばの杜・中野あおばの杜】

- I. 当年度の主な活動 P1
- II. 年間各種活動報告 P21

保育事業部事業報告

【富沢南なないろ保育園】

- I. 実施状況 P23
- II. 施設運営管理 P25

【鹿野なないろ保育園】

- I. 実施状況 P31
- II. 施設運営管理 P33

【榴岡なないろ保育園】

- I. 実施状況 P39
- II. 施設運営管理 P42

【中田なないろ保育園】

- I. 実施状況 P50
- II. 施設運営管理 P53

介護事業部事業報告

【特別養護老人ホーム 茂庭台あおばの杜・中野あおばの杜】

I. 当年度の主な活動

i 介護課

【今期の目標と趣旨】

一人ひとりの要介護の心身の状況を踏まえて、利用者の有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう配慮し支援します。利用者の身体状況の把握や、より良い生活支援のために多職種との連携を図り、安心・安全なサービス提供に努める事を目標とします。

【令和5年度実施報告】

「共通事項」

1. 一人ひとりの心身の状況を踏まえて、利用者の有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう配慮し支援するという重点目標に対し、職員一人ひとりが利用者の状態を観察・考察し、ユニットミーティングや他部署との連携を取り支援を実施しました。また、ユニット内での検討・意見交換等を行うことで職員個々のスキルアップへと繋がりケアの質も向上いたしました。
2. 事故防止対策として事故への意識付けを強化したことにより、ヒヤリハットへの気づきが増加し、事故件数の減少が見られています。環境を整えた事で一人ひとりがヒヤリハットへの意識を高く持ち施設全体で取り組むことが出来ました。事故防止委員会を通してヒヤリハットの項目設定や記載方法を見直し、事故発生後は速やかにすべての事故に対してカンファレンスを行い、小さな事故でもミニカンファレンスをユニット内職員にて実施し事故対策に努めました。結果として職員の気づきと考察能力の向上とに繋がりました。

「茂庭台あおばの杜」

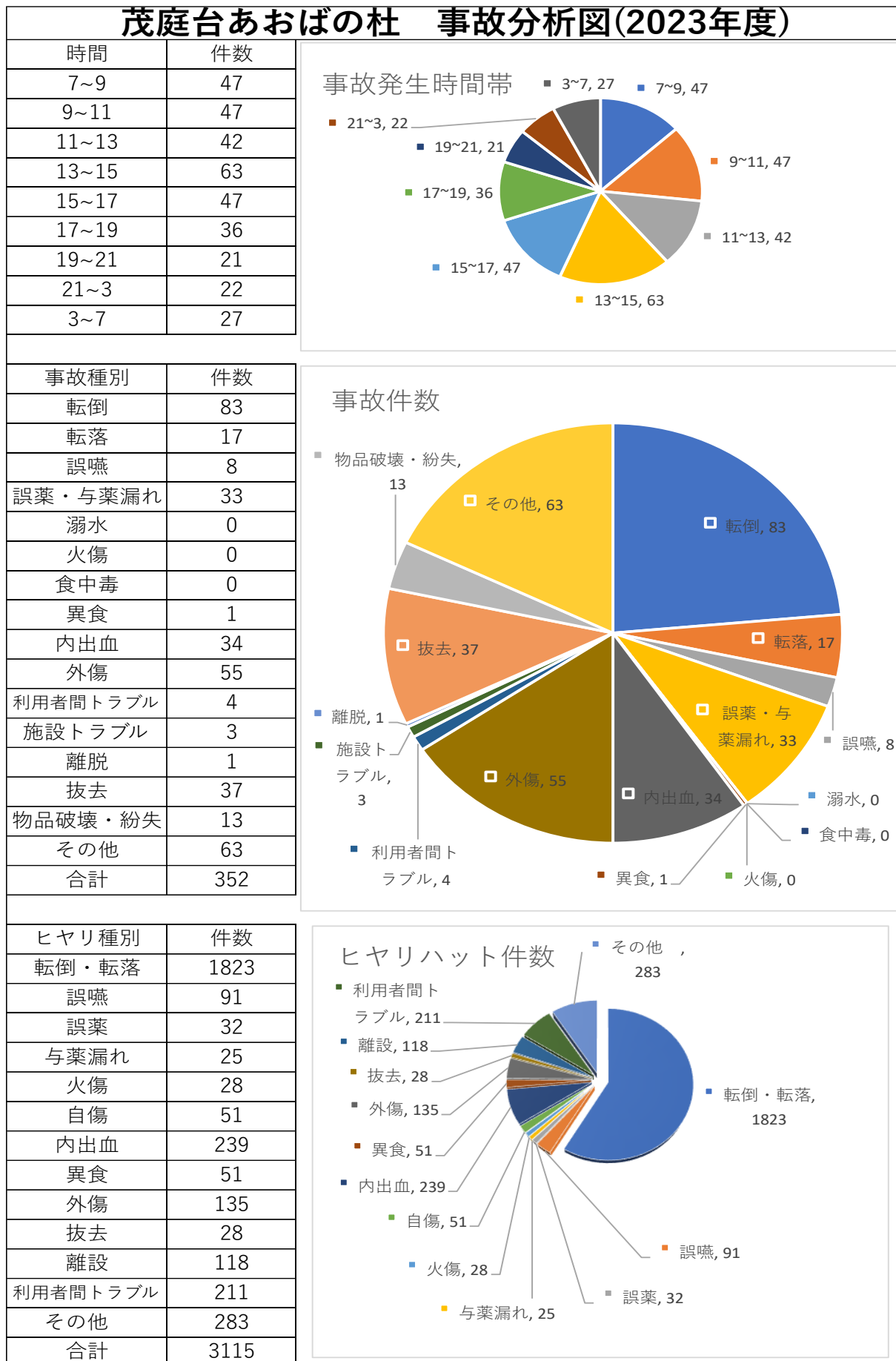
1. 今年度は外部研修への参加促進を行い、職員の資格取得やスキルアップに努めました。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、徐々にコロナ禍前の研修体制に戻ってきたこともあり、多くの外部研修に参加致しました。外部研修に参加することで知識の習得、技術の向上を図り、伝達研修等を通して参加職員だけではなく、施設内職員にも知識・技術の向上が出来ました。
2. 排泄支援の質の向上・褥瘡予防・コスト削減等の観点から、アイテムの変更、オムツ交換時間の検討をユニット単位で行い、利用者の皮膚トラブルの減少や排泄環境

の見直し、職員の負担軽減に向け取り組みを行いました。オムツ交換時間を見直したことで、交換回数の減少、利用者の睡眠時間の確保ができ、関わりの時間の増加に繋げていくことが出来ております。また、オムツ・パット類の使用率や発注環境の見直しを随時行い、コスト削減を意識し取り組んでおります。

その他、白十字のオムツ研修も取り入れることで、排泄への理解、介護技術の向上につながり職員一人ひとりが意識することで利用者へのケアの見直しができ、排泄ケアへの意識向上につながっています。

3. 感染症対策については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことからマニュアルの見直し、面会方法の見直し、事前に新型コロナウイルス感染症発生模擬訓練を実施したことで、平時より感染対策を実施する体制を整えました。感染症による欠員が発生した際は各階からの協力体制を実施し、通常行うケアや業務に支障が出ないよう業務整理を行い、都度見直しを行っています。また感染症が施設内で発生した事で職員の感染対策の意識が更に向上致しました。今後も各職員が感染症の発生を意識し、感染症発生模擬訓練、感染対策の徹底を継続して実施して参ります。
4. 介護課で行うレクリエーションや機能訓練については、日々の生活の中で口腔体操や軽体操の実施を継続し残存能力の活用や維持を目的として、利用者が楽しみながら参加できるよう昨年度同様取り組んでおります。各ユニットで工夫し季節を感じることができる装飾やイベントレクリエーション、外出レク等も実施し、利用者の楽しみや笑顔を引き出す取り組みを行いました。

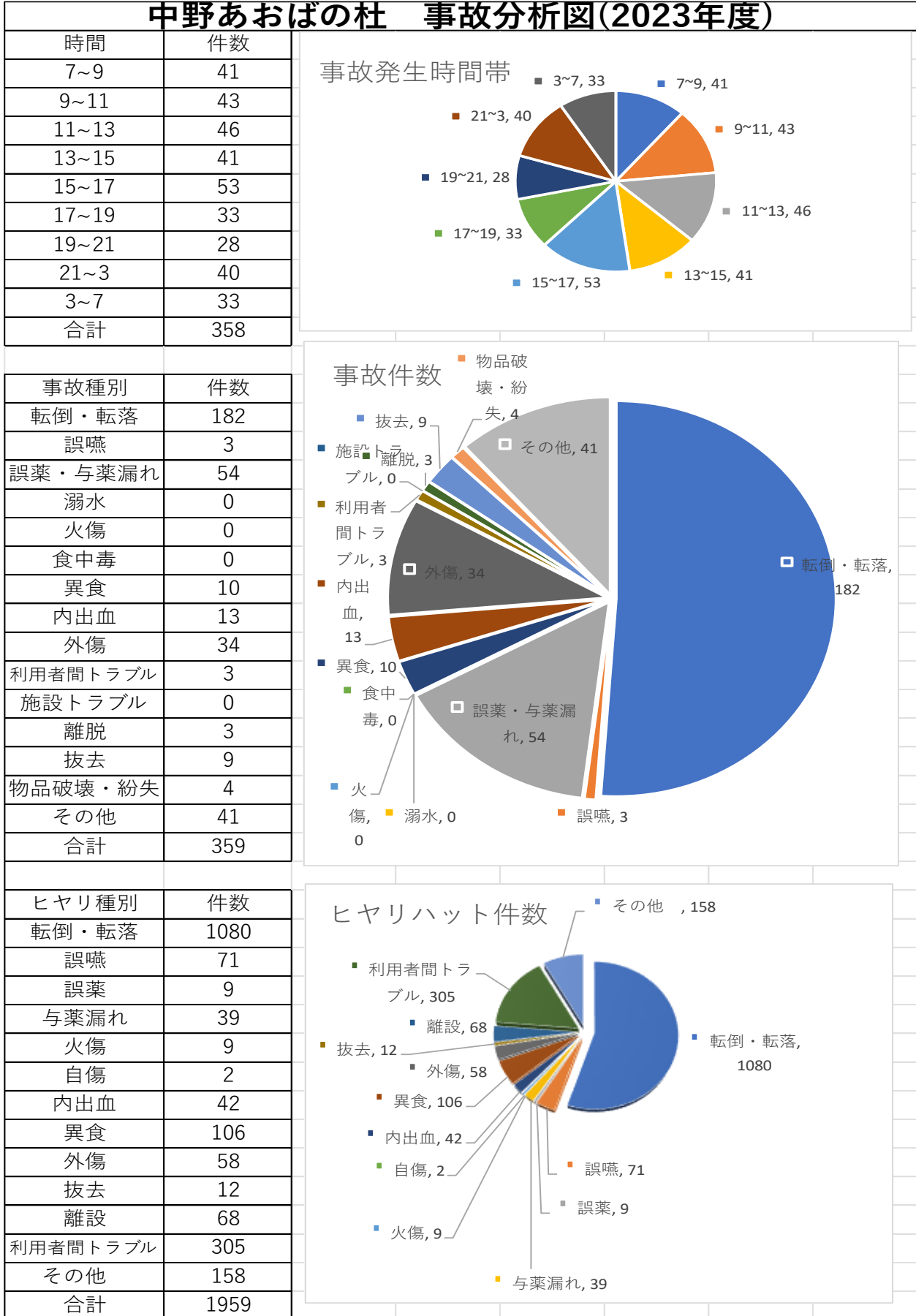
茂庭台あおばの杜 事故・ヒヤリ分析図



「中野あおばの杜」

1. 新型コロナウイルス感染症が流行した際は、施設開所後初めての対応という事もあり、施設内でも混乱が生じ対応が後手に回るケースもありましたが、以降は反省を踏まえ他部署との連携を多く取りながら、委員会活動・情報収集・勉強会を実施し、再発防止及び感染症発生時の対応構築に努めました。今後も定期的に感染マニュアル・感染BCPの見直しと改訂、勉強会を実施し感染対策強化を継続的に行って参ります。
2. 施設内での新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、面会制限を余儀なくされ、ご家族との面会の確保や情報共有に苦慮しましたが、ご家族には毎月手書きのお手紙やブログ掲載を行い、少しでも生活の様子が伝わるように取り組みを行いました。ご家族より面会時間や面会方法について貴重なご意見を頂きましたので、現在面会方法について随時検討を行っています。利用者やご家族、施設職員の顔の見える施設を目指し継続的に取り組んでいきます。
3. 介護課でのレクリエーションや機能訓練については、YouTube を使用しての口腔体操や軽体操を実施し、残存能力の活用・維持できるよう取り組んでおります。開設当初は利用者、職員共に新しい環境に慣れるまで時間を要しましたが、秋頃からは外出や各ユニットで工夫し、季節を感じる事ができる装飾を作成することで、利用者の楽しみや笑顔を引き出す取り組みを行いました。夏祭りは施設でのコロナ流行もあり延期を余儀なくされましたが、職員が一丸となり秋祭りとして実施する事が出来ました。

中野あおばの杜 事故・ヒヤリ分析図



ii 看護課

【今期の目標と趣旨】

看護課は施設重点目標に掲げる「理念の実践」「感染対策」「身体面・精神面の健康」「家族交流・情報共有」を大きな課題とし、利用者一人ひとりの意思及び尊厳を尊重し、安心・安全に日常生活を営むことが出来るように援助していきます。今年度も引き続き、感染予防・対策への取り組みではBCPに基づき職員への指導を継続し感染対策訓練を行い強化していきます。災害発生時の対応についてもBCPに基づき実践していきます。又、利用者の医療ニーズに対応し、医師の指導のもと利用者やご家族と話し合いの機会を作り、個々のニーズに合わせた医療ケアを実施していきます。

【令和5年度実施報告】

「共通事項」

1. 健康管理

利用者の抱えている疾患を理解し、日々の生活の中での身体状況の観察及び把握することに努めました。体調変化時は嘱託医へ報告し、医療的助言や診察を受け対応を行うことで体調の管理を図り、配薬・内服管理を行うことで疾患の安定に努めました。

2. 医療処置

利用者対象の健康診断受検をはじめ、定期的な通院、検査等嘱託医の指導の下実施しました。流行性の感染症に対し、嘱託医と連携し予防接種を実施しています。医療度の高い利用者への対応では、ドレーン管理、透析者の管理、人工肛門、中心静脈管理、痰吸引や経管栄養、点滴、インスリン、留置カテーテル管理をはじめ、麻薬管理等も行い個々のニーズに合わせた対応を行いました。利用者の健康状態を把握しご家族へ情報提供と意向を伺いながら、施設とご家族が協力してケアが提供できるように努めました。

3. ご家族との連携

新型コロナウイルス感染症による面会制限の中で、利用者の健康状態を把握しご家族へ情報提供と意向を伺いながら、ご家族との関わりの時間、医療ケア等、施設とご家族が協力してケアが提供できるように努めました。看取り期のケアでは利用者やご家族の意向を踏まえ、心身的苦痛の緩和に向けた医療ケアに努めました。

4. その他

入職者をはじめ職員対象に、感染対策の指導、血圧測定、口腔ケアを含む口腔内吸引・酸素吸入管理、呼吸器管理、急変時の対応について指導を実施しました。また、機能訓練指導員と協力し利用者の身体機能維持、福祉用具の適正にも助言、指導を行いました。

5. 感染BCPの作成（感染症発生時の事業継続計画）

感染症が施設内で蔓延した際に、施設サービスが継続的に行えるよう、看護課を中心として感染BCP・マニュアルの見直しを実施しました。積極的に感染症につい

での研修に参加するだけでなく、感染症の予防対策、感染経路の追跡、感染症発生時のゾーニング、感染防止アイテムの使用法の周知、医療材料等の備蓄について日々準備を行っております。また、今期は感染症が発生し施設内でBCP対応を実施しました。出勤から勤務、退勤するまでの一連の流れを実践し感染終息に努めました。今後も感染BCPの更新と併せて、施設職員を対象とした健康チェックを推奨していきます。職員の体調管理を行う事で、安心安全な施設サービスが提供できるよう今後も継続して参ります。又、利用者一人ひとりの意思及び尊厳を尊重し、安心・安全に日常生活を営むことが出来るように援助していきます。

「茂庭台あおばの杜」

1. 今期、施設での看取りケアの需要が増加傾向にあり、看取りケアの取り組みに力を入れ、安楽・安心を重点に置き医療ケアを提供しました。看取り期を過ごされる利用者やご家族の意向を共有し、嘱託医と連携しながら可能な限り利用者が安心して過ごすことが出来るケアの提供に努めました。
利用者の健康管理については、医師の指導のもと個々に合わせ通院介助はもちろん、施設で行う医療ケア提供については医療機関との連携に努めました。
利用者が日々の生活を健やかに過ごすことが出来るよう健康状態を把握し、カンファレンスでは看護の視点から助言に努めました。
感染対策への取り組みでは標準予防策を中心に訓練を行い、今年度の訓練はガウンテクニックを始め、感染対策環境の整備を迅速に行えるよう物品の設置訓練も実施しました。
災害発生時の対応については速やかに医療ケアが実践できるよう訓練いたしました。

2. 診療科別受診医療機関

<内科>

イムス明理会仙台総合病院、仙台徳洲会病院、仙台市立病院、仙台厚生病院、東北医科薬科大学病院、東北医科薬科大学若林病院、JCHO仙台病院、JCHO仙台南病院、仙台赤十字病院、東北公済病院、長町病院、総合南東北病院
仙台医療センター、七郷クリニック

<外科・整形外科>

中嶋病院、イムス明理会仙台総合病院、仙台市立病院、しまむら整形外科
泉整形外科病院、松本不二夫整形外科

<精神科>

仙南サナトリウム+、青葉病院、杜のホスピタル・あおば

<泌尿器・皮膚科>

JCHO仙台病院、せせらぎクリニック、東北労災病院
おおなみ皮膚科、仙台たいはく皮膚科

<脳外、神経内科>

仙台西多賀病院、あおば脳神経内科・外科、広南病院、仙台市立病院

<婦人科>

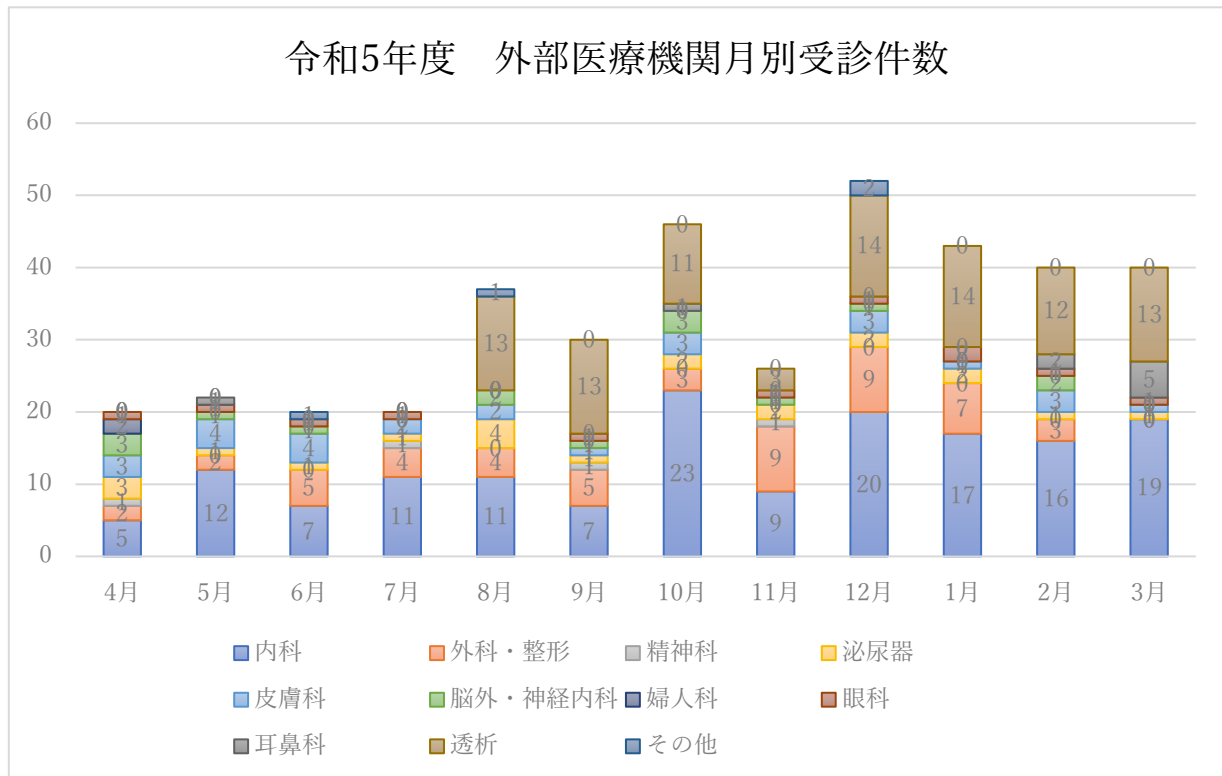
洞口・佐藤クリニック

<眼科・耳鼻科>

あやし眼科、平成眼科、イムス明理会仙台総合病院、西多賀耳鼻科

<透析>

くにみ透析クリニック



(他科：婦人科・肛門科・胃瘻交換・ペースメーカー点検等)

※グラフの主な疾患内容は、内科的には嚥下状態の低下等が原因となる誤嚥性肺炎、腎機能低下に伴う尿路感染症、外科・整形外科的には骨粗鬆症が要因となった疾患、皮膚科的には皮膚乾燥による合併症、脳外科的には下肢機能低下等による転倒により頭部打撲があった場合の検査、眼科的には目の機能低下や循環障害による合併症等がみられました。各診療科において高齢者特有の機能低下による諸症状が多く、データをもとにこれらの疾病等への予防対策に努めていきます。

「中野あおばの杜」

1. 開所して1年、利用者には日常生活を安全に健やかに生活して頂けるよう、医師の指示のもと健康管理を行いました。24時間看護師が常駐している利点を生かし、医療依存度の高い施設希望者を受け入れ、看護の視点から体調変化時は嘱託医・外部連携医療機関との連携を図り、施設での看護を展開することができました。看取り期の利用者には、「最後まで口から食べる」ことをコンセプトに他職種を含めたカンファレンスを行い、利用者やご家族の思う本人らしい生活の維持に努めることを目的として継続的に取り組んでいます。また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行になったものの、感染対策は継続的に必要であり、施設内での感染拡大防止のため職員への教育・環境整備を行いました。利用者の安全確保を目的とした事故・虐待防止・感染防止の研修を組み込み看護・介護の質向上に努めました。

2. 受診・入院に関する状況（入院時の疾患名）

心不全、脳梗塞、尿路感染症、大腸癌、慢性腎不全、誤嚥性肺炎、高血糖、高浸透圧高血糖状態、蜂窩織炎等



受診・入院先病院状況（令和5年4月～令和6年3月集計）

受診先	受診件数	受診先	受診件数	受診先	受診件数
葵会仙台病院	25	仙台市立病院	4	多賀城腎泌尿器	9
赤石病院	7	東北医科薬科	74	皮膚科	22
医療センター	11	東北大学病院	13	整形外科	38
厚生病院	4	中嶋病院	9	眼科	11
広南病院	6	利府掖済会	16	その他	36
坂病院	37	みはるの杜	11		
塩釜市立病院	32	東脳神経外科	10	合計	375件

入所受け入れと同時に専門的な治療を継続的に要する方が多く、急性期病院の受診が多くなっています。また転倒・転落により整形外科受診が全体の約10%を占めています。骨折により手術適応者は1名でした。定期的なPEG交換・尿道留置カテーテル交換・ペースメーカーの点検も含まれています。入院時の主な疾患は、誤嚥性肺炎・心不全悪化が多く改善し再入所するケースがみられています。誤嚥性肺炎・心不全の悪化については早期発見、早期対応が必要となることから、日常的なケア・管理が重要となってくるため、看護師のカンファレンスを通し注意点を共有することで今後も悪化防止に努めていきます。

iii 機能訓練課

【今期の目標と趣旨】

利用者の身体状況や精神状態を把握し身体機能維持・向上されるよう個々にあった個別機能訓練を実施します。利用者の身体状況に合わせて拘縮予防やポジショニングの見直しを行い、介護職員に向けて日々の生活に活かしていけるよう動作指導や助言、内部研修を実施し多職種で連携が出来るよう取り組みます。

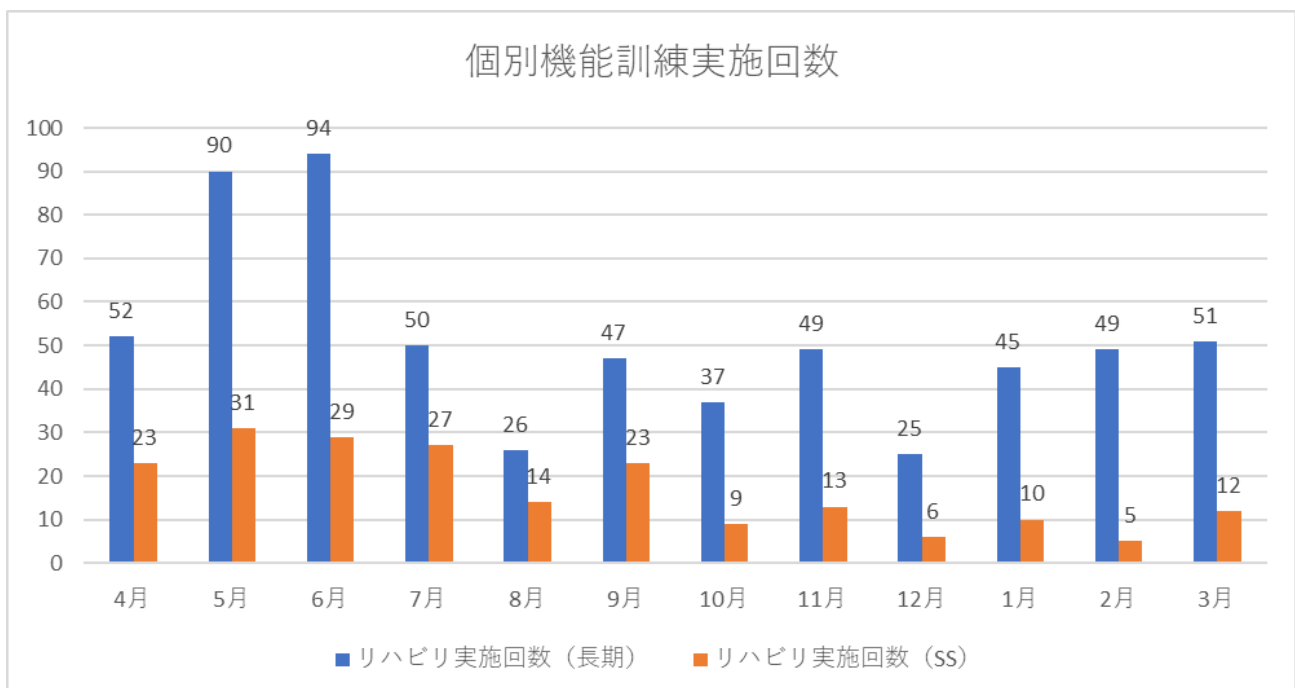
機能訓練実施を定着化させる取り組みを強化するだけでなく環境整備も合わせて行い、事故を未然に防げるよう取り組んで参ります。

【令和5年度実施報告書】

「茂庭台あおばの杜」

1. 機能訓練の実施

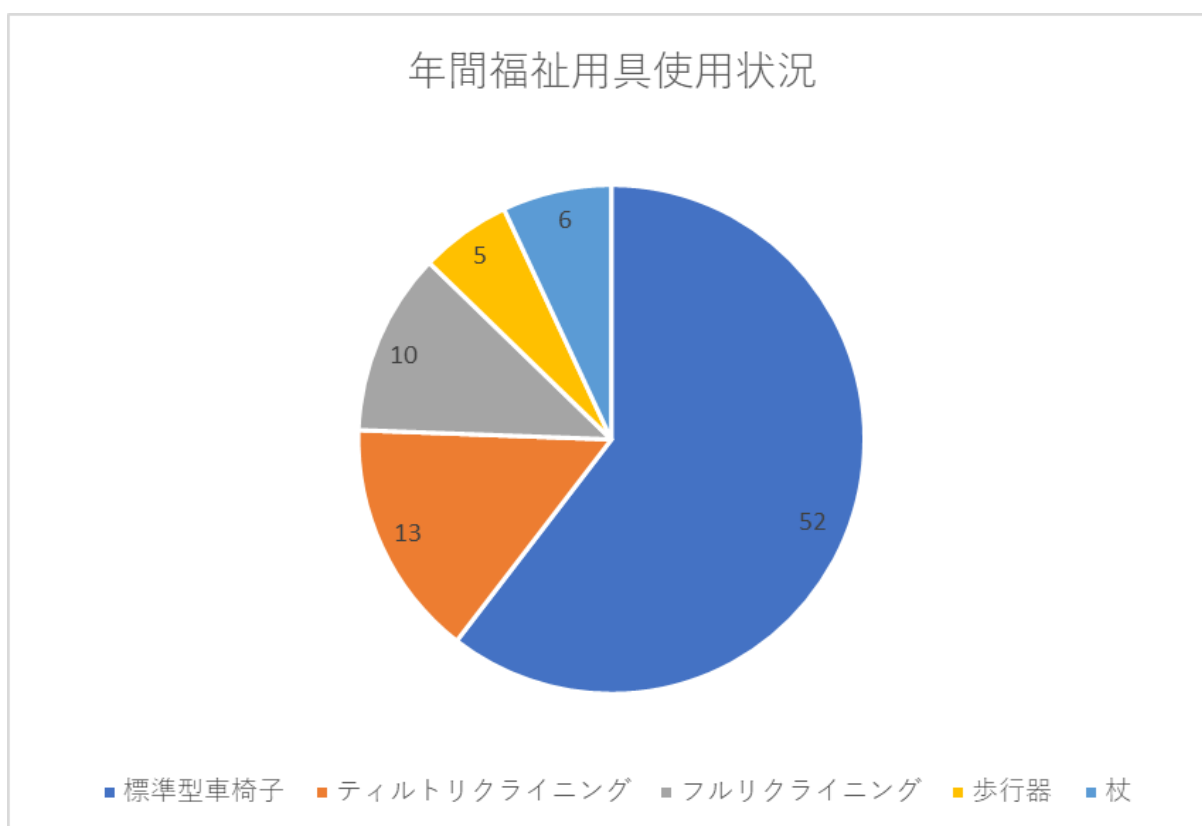
感染対策期間中の機能訓練の実施については、感染対策は前年度と比較して緩和したため、集団体操やレクリエーションは小規模での実施とし、数多く開催ができるよう課内や各ユニット間で連携し取り組みました。また、地域交流室での活動も積極的に行い、活動意欲や身体機能の維持が図れるよう取り組みました。常に利用者の身体機能や状態把握に努め、未然に事故を防止できるように環境整備にも目を向け、他職種間での情報共有に努めました。また、発生した事故に対しても機能訓練状況の観点から助言し、再発防止の取り組みを行いました。



2. 施策と実施状況

- (1) 身体機能や活動意欲の維持を目的に、機能訓練課主体の活動として運動レクリエーションの企画を立て、日常的に行える軽体操やボウリング、風船バレーや棒体操等のレクリエーションを実施しました。

- (2) 利用者の生活背景や既往歴などを鑑みて、無理せずに取り組むことができる運動を日常生活の中に取り入れていけるよう、生活リハビリを他職種と連携しながら行っています。また、適宜個別訓練も交えながら身体機能の維持が図れるよう取り組みました。
- (3) 車椅子の種類や歩行補助具の使用について、利用者の身体機能に合ったものを選定、身体機能に適した福祉用具を提案し、生活課題の改善や事故防止に向け適宜見直しを行いました。
- (4) 他職種と連携し利用者の身体状況を把握し、四肢の拘縮や皮膚の状態に合わせて体位交換の仕方やポジショニングなどの検討を随時行い、課を中心に職員への指導を行いました。



「中野あおばの杜」

1. 長期入所、短期入所の小集団機能訓練

感染対策に留意し、協力ユニットでの小集団で機能訓練を実施しています。様々な利用者が参加できるものやADLに合わせたもの等、利用者が楽しみながら参加できる内容に努めました。外出やご家族との面会については、感染対策による制限状況もあり、介入頻度を増やすことで不安の減少、楽しみの継続となるよう内容の検討と実施に努めました。また、利用者の事故防止の観点から生活環境で事故を未然に予防することを意識し、生活動線の見直しも行い他部署と連携を図りました。短期入所個別機能訓練は、利用者やご家族の希望に合わせ柔軟に対応しました。

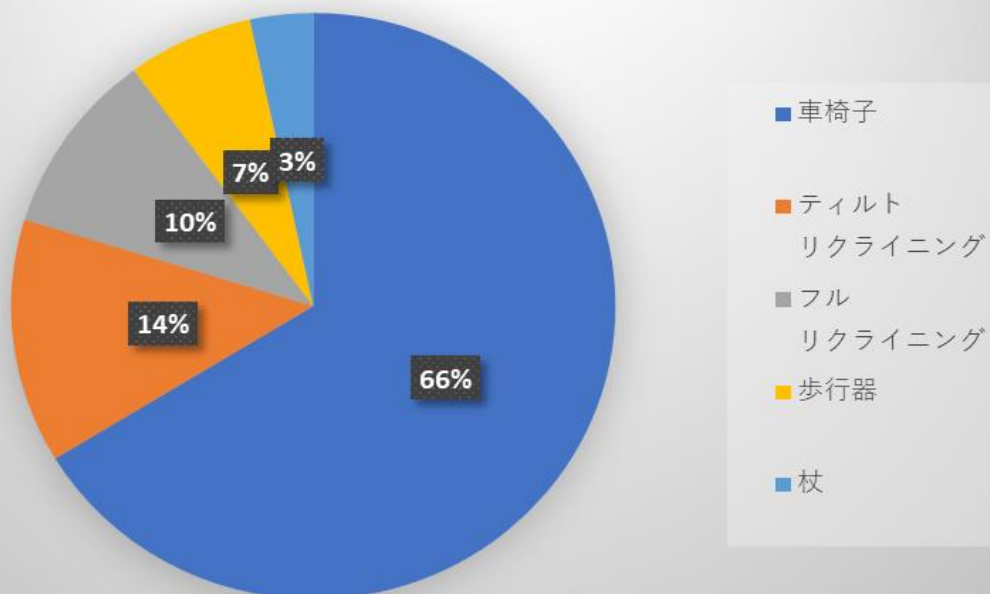
短期入所個別機能実施件数



2. 施策と実施状況

- (1) 加齢等による機能低下を防ぐ為の定期的な軽体操や機能訓練を行いました。利用者の生活リズムや好きな活動、個々の身体状態にあったプログラムを作成し、日常的に実施できる内容も考慮した取り組みを継続しています。
- (2) 利用者の身体状況や性格、既往歴や転倒リスク等の把握に努め、随時福祉用具（車椅子）の検討と見直しを他職種と連携し行いました。利用者の課題と生活上の課題双方を鑑みて福祉用具選定を行っております。
- (3) 福祉用具（車椅子）使用に関しては、医療依存度の高い利用者や疾患、身体状況に応じて随時使用についての評価を行いました。
- (4) 移乗介助や福祉用具活用の指導を通して、職員の腰痛予防等、負担軽減につながる取り組みを行いました。

年間福祉用具使用状況



iv 栄養課

【今期の目標と趣旨】

施設重点目標「適正な栄養管理」「精神的健康の獲得」を課題とし、利用者にとって必要な栄養管理と生きる活力となる様な食事を提供します。高齢者の栄養管理については介護保険上でも明記され、日々の健康な生活を送る上で重要なものとなります。加齢や病気、食事形態等に伴う摂取量の低下に留意しつつ、五感への刺激や住み慣れた地域の食材、思い出の食事に着目し、体の健康と心の健康に配慮した食事提供を心掛けます。又、衛生管理十分配慮し、安心・安全な食事提供を、管理栄養士が中心となり職員への指導を行います。

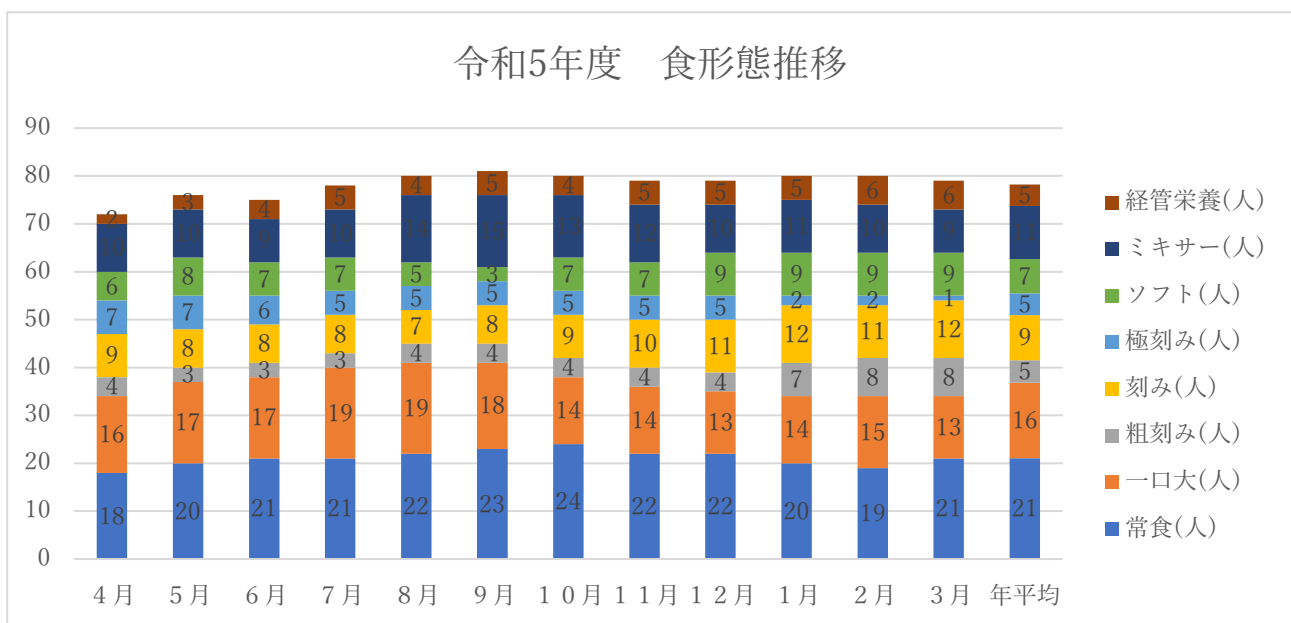
【令和5年度実施報告】

「茂庭台あおばの杜」

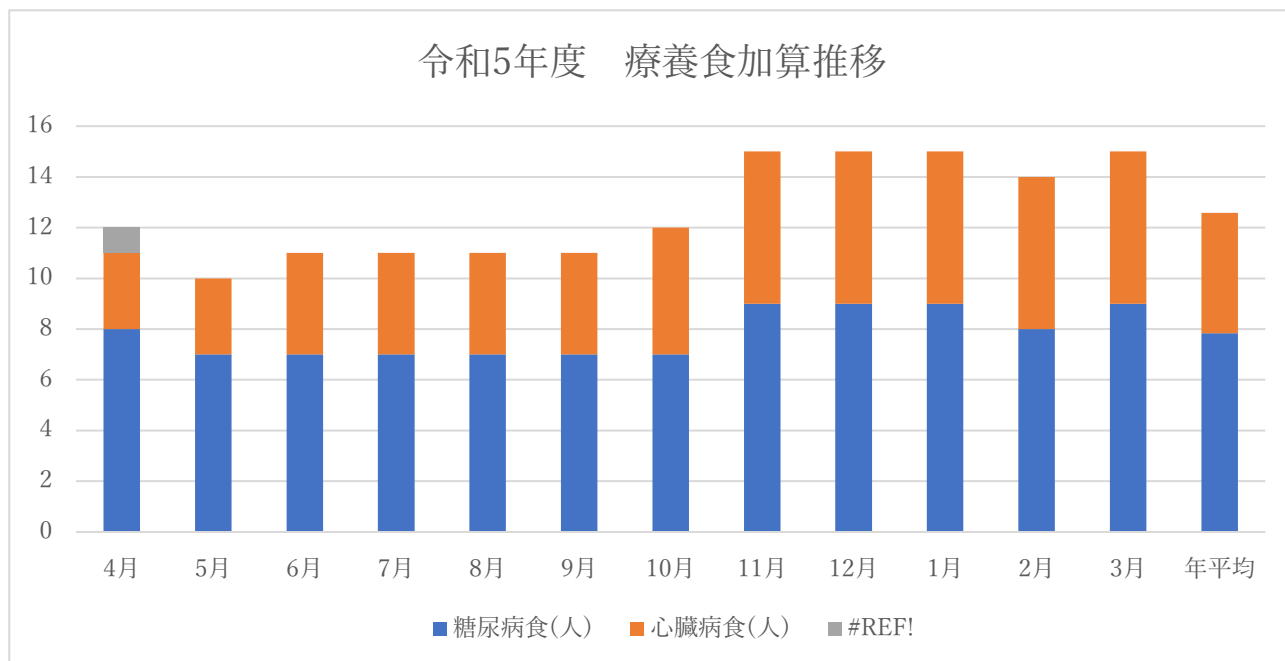
今年度は適正な栄養管理を目指し利用者の嗜好や身体機能、疾病の把握に努め栄養バランスを意識した献立を作成し個々に適した食事提供する事が出来るよう、管理栄養士と厨房スタッフで連携し取り組みました。また、献立の「彩」を重視し「見た目」から食欲をそそる献立になるよう、毎月のイベント食や行事食を献立に取り入れ日本各地の郷土料理等、四季折々の食事を楽しんで頂くよう努めました。

嗜好調査の実施や職員に職員食を食べてもらえるよう呼びかけ、食べた感想を具体的に聞き取りすることで、日々改善を行っております。

利用者の健康管理では毎月体重測定をもとにBMIの算出・血液学的な観点からも総蛋白やアルブミン値をもとに摂取量の確認を行いました。栄養補助食も種類を増やし個々に合わせ回復食の提供にも努めました。



毎月数名の入退所はありますが、食事形態の推移は安定しており、全体的に摂取能力の大きな低下は見られておりません。



「中野あおばの杜」

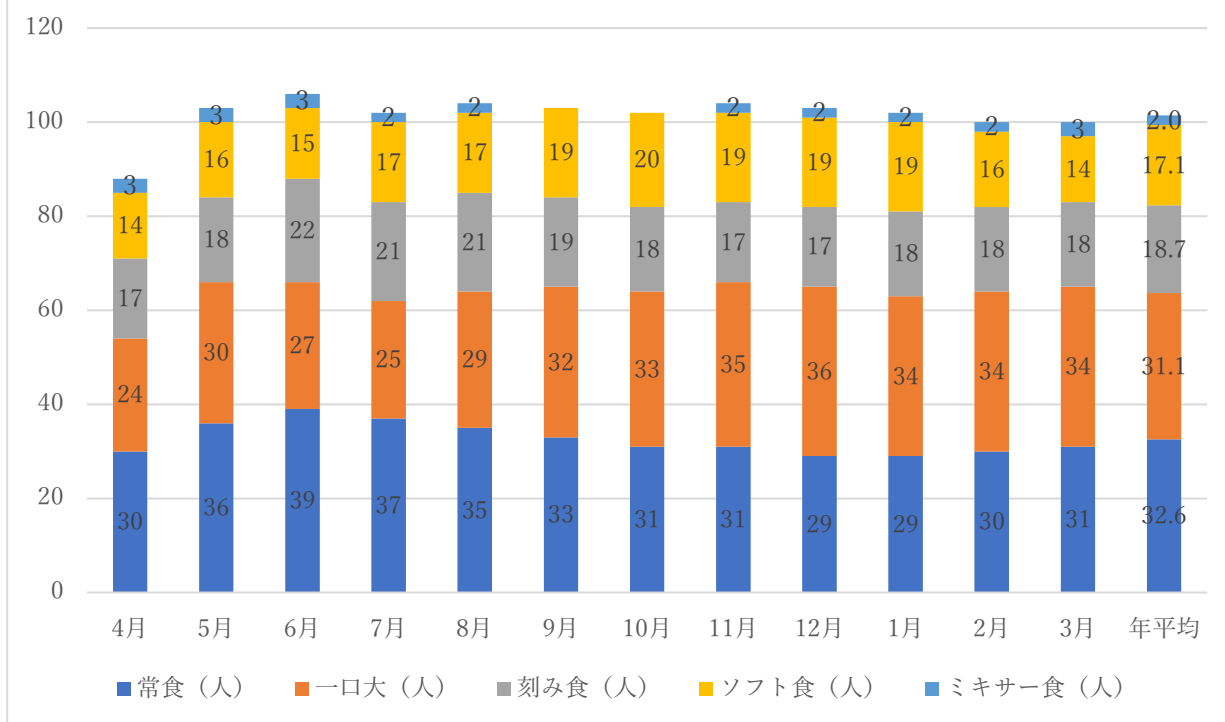
今年度は、栄養・給食管理部分のベース作りに努めました。具体的な取り組みとして、栄養士同士で行う栄養ミーティングの実施や厨房スタッフとの給食ミーティングを密に行い、問題点があった際はすぐ対応できるよう努め、互いが納得した状態で業務が進められよう心掛ました。

食事の中では、ユニットごとのリクエストメニューや郷土料理を取り入れ、日頃の食事に対し楽しみが増えるよう取り組みました。

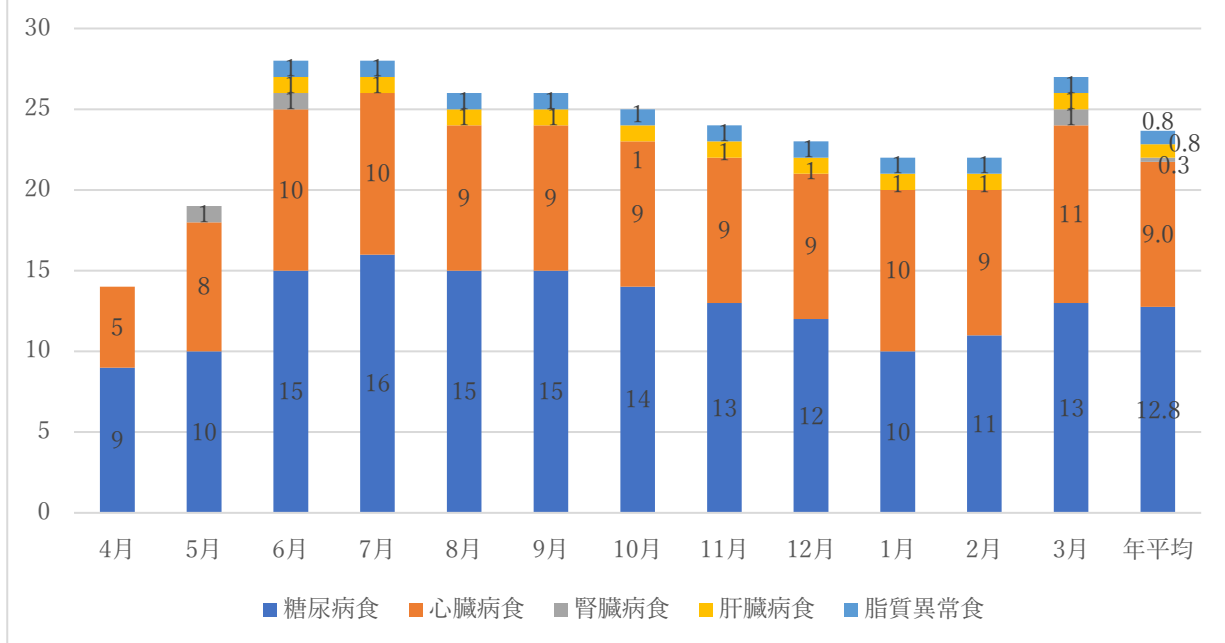
また令和5年度に実施した嗜好調査と残食調査では、提供量に対し丁度いいとの意見が多く、残食調査では看取り期以外の方は平均7~10割召し上がっており比較的良好な結果となっています。

栄養ケアマネジメントでは、ラウンドを随時行い利用者の個々の意見を聞き取りし、状況によっては、嗜好品を取り入れた食事支援を行いました。その実施により、食事量が増え、利用者の笑顔や満足度も向上したように感じ、その状況は多職種と共有を行っています。

令和5年度 食形態推移



令和5年度 療養食加算



√生活相談課

【今期の目標と趣旨】

多様化するニーズへの対応や、医療行為が必要な施設利用希望者に対して柔軟かつ迅速にサービス提供が行えるよう関係機関と連携し取り組みを行います。貧困や身寄りがなくサービス利用を困難に感じている方に対して、社会福祉制度の紹介を行い、適切に支援を受けられるようサポートします。また、入居者・ご家族・地域・施設の架け橋の構築と社会参加支援を行い、地域での生活が生きがいや充実感を感じながら安心して営めるよう取り組んでいきます。

施設サービス計画については本人や家族の希望するニーズや必要なケア内容だけではなく、ICTの活用や地域交流についても盛り込んだ内容で作成する。

施設サービスについては自己・外部の評価機関を活用し、評価から見える新たな課題に向け取り組み、より質の高いサービスを目指します。その他、様々な事業所・関係者・地域と信頼関係を構築し、安定した入居率・稼働率の維持を図ってまいります。

【令和5年度実施報告】

「共通事項」

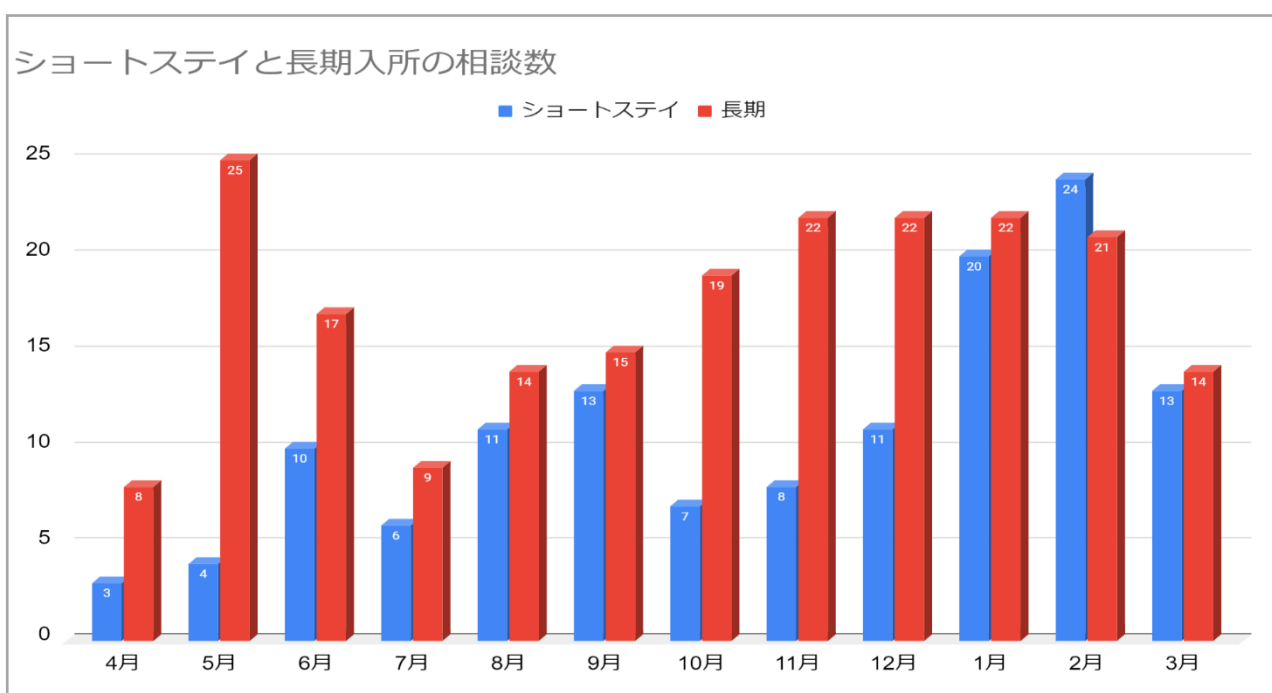
1. 科学的介護情報システム（L I F E）の継続した活用に取り組みました。様々な利用者情報を集約し、より質の高いサービス提供に向け、各部署が連携を図りL I F Eの活用を実施しています。今後も質の高いサービスが提供できるよう、継続して取り組みます。
2. ご家族との関わりについては、新型コロナウイルス感染症拡大もあり今期も取り組みは不十分な結果となっております。家族会、家族交流会について検討していましたが、感染防止の観点から中止となったことから、ご家族へ向けたアンケートを実施し、ケアに対して等の感謝のお言葉、貴重なご意見を頂いております。ご家族の想いにお応え出来るよう各部署と連携し取り組みます。
3. 地域との交流については、活動が不十分な結果となっております。今後は町内会長様と面談を重ね、地域ケア会議や地域行事への参加等について検討していきたいと考えております。また、今後に向けてボランティアの方の受け入れ等を検討していきます。
4. ケアプランの目標期間更新に併せてモニタリング、カンファレンスを行い、各部署と連携しながら現状と解決すべき課題の抽出に努めました。必要時各ユニットヘラウンドを行い職員からの情報収集、申し送り等は内線やシステムを活用し、利用者の状態把握と解決に向けて検討する取り組みを継続して行いました。看取り期の方への対応としては、安心・安楽に過ごす事ができるよう各部署と連携を図りながらケアの内容を随時検討したほか、医師からの病状説明や看護からの処置等の説明の際には同席し、ご家族の意向を確認しながらサービス計画の作成を行いました。
5. 利用者の状態変化時等には、都度ご家族への状態報告を行いました。また面会時等で直接ご家族へ利用者の日頃のご様子をお伝えし、利用者のご家族との関わりが継

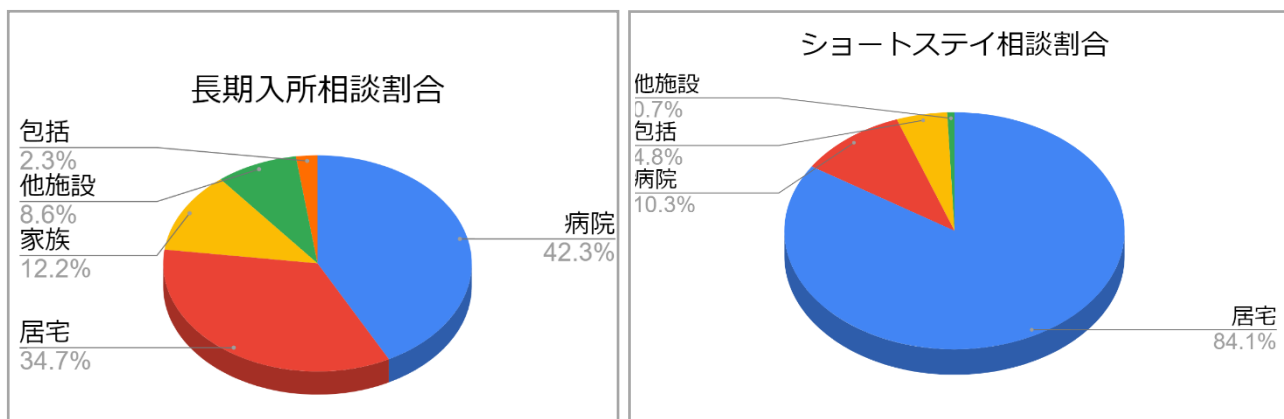
続出来るよう努めました。

6. 利用希望者、または利用者が入院され退院する際に実態調査を行い、情報収集と各部署との情報共有に努めました。利用者の ADL 状況に応じて、各部署と居室の選択や必要な福祉用具の選定を行い、安心して入居して頂けるよう入居調整を行いました。
7. 要介護認定に係る調査業務委託を受け、認定調査業務を今期も実施しております。認定調査業務の委託を受けるにあたり、適切な介護度判定の為、利用者本人やユニット職員から状況を聞き取るだけではなく、より専門性を高める為、外部の研修に参加し認定調査に必要な知識・技術の修得に努めました。
8. 在宅介護困難ケース、生活保護受給者、身寄りのない方、在宅生活へ向けたショートステイ、入院後のサービス利用の提案等、サービス利用を希望する利用者やご家族の状況・ニーズを都度確認し、短期間～長期間のショートステイ利用や長期入所サービスの提案や対応に努めました。相談内容として多岐にわたるケースについて各部署と連携を図りながら、サービス提供に努めております。

「茂庭台あおばの杜」

様々なニーズに対応できる施設、安定した稼働による施設運営を目指し、様々な相談に対して寄り添う対応を行っております。相談の内容として「ご家族や利用者の状況の変化による在宅介護の困難」「医療機関からの早期退院依頼」「利用中の介護サービス事業から対応困難と申し出があった」「身寄りがない方の受け入れ」「医療依存度の増加」等の割合が増加傾向であり、このようなケースに対して介護サービスを提供する為の検討を施設全体で考える取り組みを行いました。取り組みの結果、介護を必要する方への柔軟なサービス提供及び稼働率の向上につながりました。





前年度と同様に、全体的に居宅介護支援事業所からの相談が多い傾向です。また病院からの相談についても前年度と同様の割合で相談を頂いております。

【令和5年度 認定調査件数】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2件	3件	5件	1件	3件	1件	1件	3件	8件	0件	4件	4件

【令和5年度 実績報告】(令和5年4月~令和6年3月)

長期入居(定員80名)月間・年間稼働実績 目標稼働 95% (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
今期実績	90.29	93.35	94.54	94.96	98.35	96.71	95.89
前年度	97.96	95.81	95.38	96.53	98.06	96.63	96.09

	11月	12月	1月	2月	3月	平均稼働率
今期実績	95.83	98.43	98.10	98.92	98.63	96.10
前年度	95.83	92.66	88.23	94.20	97.54	95.41

短期入所生活介護(定員20名)月間・年間稼働実績 目標稼働率 85% (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
今期実績	62.17	70.16	85.67	84.35	90.81	94.33	86.13
前年度	86.83	95.81	78.67	91.77	86.13	90.50	88.87

	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均稼働率
今期実績	93.67	100.32	96.77	98.79	93.55	88.06
前年度	95.17	91.61	93.55	89.29	85.16	89.44

令和5年度 累積稼働実績

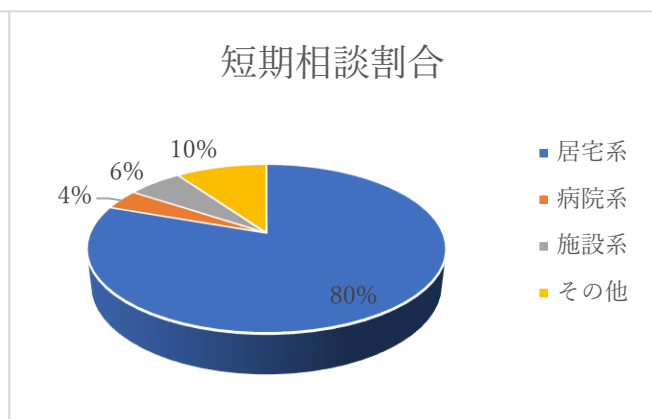
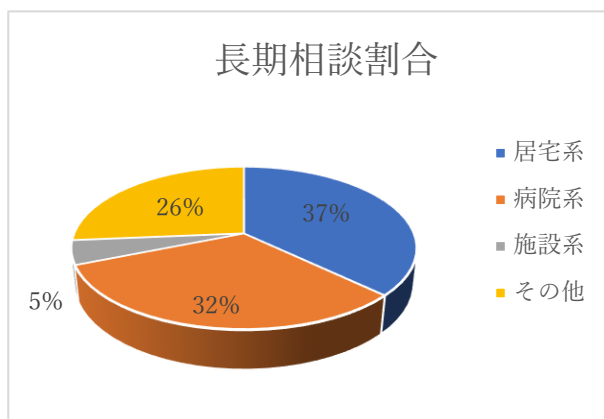
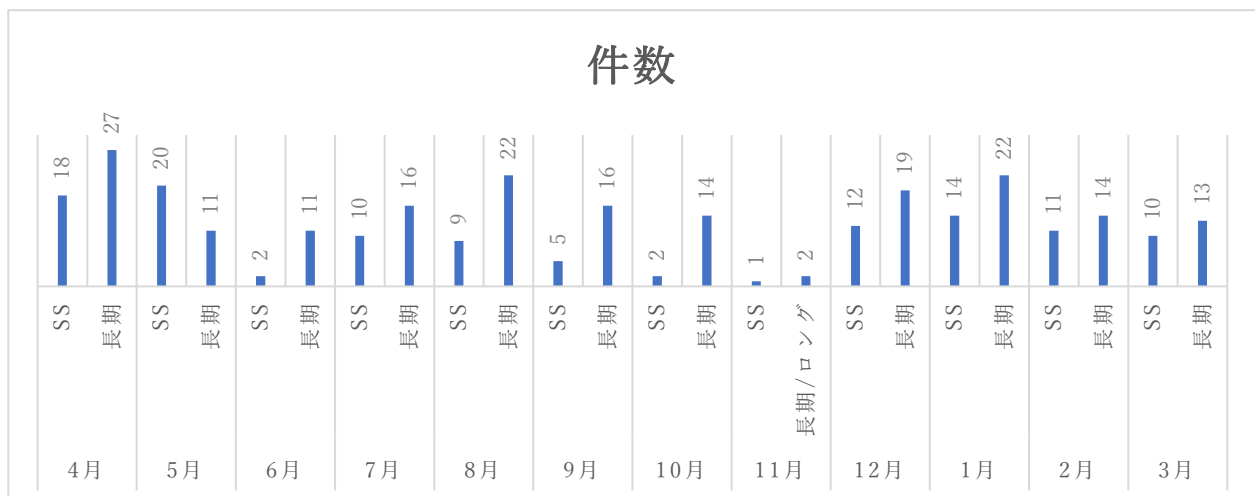
(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
今年度	84.67	88.71	92.77	92.84	96.84	96.23	93.94
前年度	95.73	95.81	92.03	95.58	95.68	95.40	94.65

	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均総合稼働率
今年度	95.40	98.81	97.84	98.90	97.61	94.54
前年度	95.70	92.45	89.29	93.21	95.06	94.21

「中野あおばの杜」

早期満床を目指し、問合せに対して迅速な対応を行い、入居に向け準備を行いました。希望者の医療状況や金銭的理由等により入居に繋がらなかったケースもありましたが、実態調査等をスムーズに行うことで安定した稼働に繋がっております。空床が出た場合は、都度待機状況を確認し、介護の必要性が高い要介護4・5の方をメインに入居を進めておりました。また、家庭環境や状況により要介護3、特列入所の方の入所も進めておりました。待機者の確保が難しい場合は各事業所(居宅介護支援事業所、病院等)へのFAX営業を行い早期の待機者確保に努め、ショートステイの空床利用を活用し稼働率の安定に向け取り組みを行いました。



【令和5年度 実績報告】(令和5年4月~令和6年3月)

長期入居(定員110名)月間・年間稼働実績 目標稼働 95% (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
今期実績	57.39	87.07	95.21	93.49	93.96	96.16	98.42

	11月	12月	1月	2月	3月	平均稼働率
今期実績	95.61	97.24	96.86	96.61	96.25	92.28

短期入所生活介護(定員10名)月間・年間稼働実績 目標稼働率 85% (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
今期実績	47.67	44.19	44.67	51.29	53.87	84.00	97.74

	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均稼働率
今期実績	91.33	90.97	91.61	106.55	82.58	79.96

令和5年度 累積稼働実績 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
今年度	56.58	83.49	91.00	89.97	90.61	95.56	98.36

	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均総合稼働率
今年度	95.25	96.72	96.42	97.44	95.11	90.85

II. 年間各種活動報告

i 施設行事・委員会等の報告

茂庭台あおばの杜 令和5年度 年間行事報告

4月	お花見・居酒屋イベント	10月	消防訓練
5月	端午の節句・あおば農園作成	11月	芋煮会
6月	消防訓練・居酒屋イベント	12月	クリスマス会・防災訓練
7月	夏祭り・七夕	1月	安全健康祈願・餅つき大会
8月		2月	豆まき
9月	敬老会	3月	桃の節句

中野あおばの杜 令和5年度 年間行事報告

4月	施設開所	10月	芋煮会・秋祭り
5月		11月	外出レク（定義山）
6月	消防訓練	12月	クリスマス会
7月		1月	安全健康祈願・餅つき大会
8月	七夕飾り	2月	豆まき・消防訓練
9月	敬老会 （富沢南なないろ保育園参加）	3月	桃の節句

※地域等の感染状況に留意し、予防策を講じながら実施致しました。

ii 内部・外部研修報告

	茂庭台あおばの杜		中野あおばの杜	
月	外部研修	内部研修	外部研修	内部研修
4月		排泄ケアについて	感染研修	事故防止研修
5月		ユニットケアについて	新任職員研修	身体拘束・虐待防止について
6月	給食施設の衛生管理研修	介護現場のリスクマネジメント	仙台市シェイクアウト研修 UL研修	認知症のケア事例検討
7月		認知症事例検討	施設看護管理研修	感染対策について 身体拘束について
8月		高齢者施設における感染対策		虐待の防止
9月	中堅職員研修	虐待防止の研修 身体拘束ゼロ研修		看取りケアについて
10月	中堅職員研修	看取りについての理解を深める	中堅職員研修	身体拘束防止 虐待防止
11月	クレーム対応研修 認知症セミナー	認知症事例検討 (グループワーク)	認知症基礎研修	避難訓練
12月	認知症基礎研修 排泄ケア研修	ヒヤリハットの重要性について 防災BCP訓練	認知症基礎研修 排泄ケア研修	事故防止研修 排泄ケアについて
1月	ICT研修 キャリアパス研修 UL研修 介護報酬改定研修 福祉避難所研修	流行性感染症について	福レクの向上 BCP作成研修 UL研修 介護報酬改定研修 宮城介護職員研修	感染対策 身体拘束防止 虐待防止
2月	仙台市社会福祉法人職員研修 中堅職員研修 床ずれ対策研修	褥瘡の予防とケアについて	医療安全研修 メンタルヘルス 看護ユニット研修 アセスメント研修	事故防止対策
3月	実習指導者研修	不適切ケアについて考える 高齢者虐待防止について 感染BCP訓練	ユニットケア基礎研修	認知症ケア研修

保育事業部事業報告

【富沢南なないろ保育園】

○事業報告概要

令和5年度は、適正な人員配置のもと、のびのびとこころ豊かな人間に成長・発達することを支援し、保護者に安心して預けられるように、一人ひとりの思いを汲み取った上で共感していくという丁寧な保育を職員全員で心掛けた。

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことに伴い、保護者参加型の運動会、生活発表会等の他にもおやつ参観懇談会、給食参観懇談会を初めて実施し、子どもたちにも保護者にも満足していただける園内行事となった。

I. 実施状況

i 保育事業

- 1) 通常保育事業（月～土 7時～18時実施） 定員90名（最大受入数108名）
- 2) 延長保育事業（月～土 18時～20時実施）
- 3) 一時預かり保育事業（月～土 7時～18時実施）

ii 給食部門

- 1) 食育活動
- 2) 衛生管理の徹底
- 3) アレルギー対応の徹底

iii 看護部門

- 1) 日々の健康管理および健康指導
- 2) 健康診断・歯科検診

iv 防災部門

- 1) 防災・避難訓練（毎月）
- 2) 不審者対応訓練（年3回）

√年間行事 ※身体測定、防災・避難訓練は毎月実施

月	行事内容	活 動 内 容
4月	入園式	新入園児を迎え、入園したことを祝う
5月	子どもの日会	各クラスで制作をしたり歌を歌ったりして祝う
	おやつ遠足	3・4・5歳児対象（近隣の公園へ散歩に行く）
6月	健康診断	2日間に分けて未満児・以上児の内科健診を行う
	歯科検診	全園児歯科健診
7月	七夕会	七夕の由来を知り、各クラス短冊に願い事を書く
	水遊び	各クラス水遊びを楽しむ（8月12日まで）
9月	学研イベント	5歳児が学研の科学イベントに参加する
	敬老会	中野あおばの杜に5歳児が訪問し、利用者との交流を深める
10月	運動会	2週に分けて未満児・以上児が園庭にて運動会を行う
	健康診断	2日間に分けて未満児・以上児の内科健診を行う
	ハロウィン	ハロウィンパーティーに参加し、合言葉を伝えおやつをもらう
11月	遠足	八木山動物園でシールラリーをしながら楽しむ（3・4・5歳児）
	総合避難訓練	消防署の方が来園し、避難訓練を行う。消防車を見学する
12月	生活発表会	2週に分けて未満児・以上児が園内にて劇や歌を発表する
	クリスマス会	サンタクロースが来園し各クラスにプレゼントを配り行事を楽しむ
2月	節分	節分の由来を知り、行事に参加する
	交通安全教室	5歳児を対象とし、講師を招き交通ルールを学ぶ
3月	新入園児説明会	来年度入園する園児と保護者の不安がなくなるよう説明会を開く
	卒園式	園生活を通して成長したことを褒め、新たな門出をお祝いする
	お別れバイキング	バイキング形式で会食を行い、年長児の卒園をお祝いする

※毎月誕生会を開催。各クラスで誕生児をお祝いする

II. 施設運営管理

i 会議等

月	内 容	月	内 容
4月	定例会議（全体・未満児・以上児）	10月	定例会議（全体・未満児・以上児）
5月	定例会議（全体・未満児・以上児）	11月	定例会議（全体・未満児・以上児）
6月	定例会議（全体・未満児・以上児）	12月	定例会議（全体・未満児・以上児）
7月	定例会議（全体・未満児・以上児）	1月	定例会議（全体・未満児・以上児）
8月	定例会議（全体・未満児・以上児）	2月	定例会議（全体・未満児・以上児）
9月	定例会議（全体・未満児・以上児）	3月	定例会議（全体・未満児・以上児）

ii 研修等

1) OJT 研修

月	研 修 内 容	参加人数
4月	個人情報の取り扱い・人権擁護・虐待の早期発見について	24名
5月	保育の概要について	24名
6月	感染症について	24名
7月	保護者支援	24名
8月	障がい児保育について	23名
9月	ノンコンタクトタイム 全クラス（後期に向けて）	22名
10月	遊びの内容	21名
11月	運動遊びの内容	21名
12月	ヒヤリハットについて	21名
1月	食育活動について	21名
2月	ノンコンタクトタイム 全クラス（後期を振り返り、まとめ）	21名
3月	次年度の引継ぎ	21名

2) 外部研修

月	研修内容	参加人数	研修内容	参加人数
5月	特別支援コ-デ ィネ-ター研修(初級)①	1名	ハラスメント研修(施設長・主任対象)	2名
	乳児保育研修	1名	新任職員研修	1名
	看護職員研修	1名	初任保育士研修Ⅰ・Ⅱ	2名
	新人保育士向け合同研修	1名	保育園長研修会Ⅰ	1名
6月	主任保育士研修	1名	カウンセリング研修	1名
	特別支援コ-デ ィネ-ター研修(初級)②③	1名	幼児教育担当者研修(キャリアアップ)	1名
	保護者支援・子育て支援研修(キャリアアップ)	1名		
7月	特別支援保育研修	1名	中堅保育士等研修	1名
	乳児保育担当者研修(キャリアアップ)	1名	マシ-ン担当者研修(キャリアアップ)	1名
8月	幼児教育研修①②	1名	特別支援コ-デ ィネ-ター研修(初級)④⑤	1名
	コミュニケーション技術・対人援助技術研修(基礎)	1名	アソシ-エ-ット研修	1名
	障害児保育担当者研修(キャリアアップ)	1名		
9月	初任保育士研修	1名	給食担当者研修	1名
	ア-ル・運営支援課合同研修	1名	栄養士研修	1名
	特別支援コ-デ ィネ-ター研修(初級)⑥	1名		
10月	初任保育所長等研修	1名	幼児教育研修③	1名
	主任保育士等研修	1名		
11月	中堅保育士研修	1名	特別支援コ-デ ィネ-ター研修(初級)⑦	1名
	仙台市連合会研修	1名	管理者研修	1名
	中堅主任保育士研修	1名	保護者支援・子育て支援研修(キャリアアップ)	1名
	マシ-ン研修(キャリアアップ)	1名	保健衛生・安全対策研修(キャリアアップ)	1名
	食育・アレルギー-対応研修(キャリアアップ)	1名	障害児保育研修(キャリアアップ)	1名
	幼児教育研修(キャリアアップ)	1名	乳児保育研修(キャリアアップ)	1名
12月	臨時看護職員連絡会	1名	中堅保育士研修	1名
	特別支援コ-デ ィネ-ター研修(初級)⑧	1名		
3月	ア-ル療育センター研修	1名		

iii 施設見学・職場体験・実習生の受け入れ

受け入れ期間	学校名	目的	受け入れ人数
1月22日～6月3日	仙台白百合女子大学	実習	1名
6月5日～6月16日	仙台こども専門学校	実習	1名
7月3日～14日	仙台こども専門学校	実習	1名
7月3日～15日	聖和学園短期大学	実習	1名
7月24日～8月5日	聖和学園短期大学	実習	1名
11月6日～11月18日	仙台白百合女子大学	実習	1名
10月30日～11月1日	仙台幼児保育専門学校	職場体験	2名
3月6日～8日	東北福祉大学	ボランティア	2名

iv 事故件数

保育中の怪我による通院件数 … 14件

年齢	怪我の内容	対応
5歳児	保育者と保育室内にて遊んでいた際に保育者の肩によじ登ろうとした所、バランスを崩し転倒。元々生え変わりの段階のグラつきのある前歯を強打。	歯科受診
2歳児	午睡前に右目の下が若干腫れ様子を見ていたが、午睡後腫れがひかないため眼科を受診。急性結膜炎。	眼科受診
1歳児	他児との関わりの中で使用していたパズルを取った所、他児に頬を引っ掻かれ薄皮が剥がれた状態となり、内科受診。顔面皮膚欠損創。	内科受診
1歳児	他児と保育室内で鉢合わせのような形となり、他児にひっかかれ右目尻に指が入る。目瞼皮膚炎、カタル性計結膜炎	眼科受診
1歳児	保育室内で他児との玩具の取り合いでトラブルとなり、他児に覆いかぶさったところ口元にあった指を噛まれる。人差し指から出血が見られたため病院受診。	内科受診
2歳児	園児トイレ内にて床に置いていたトイレ用マットにつまずき転倒。左眼瞼を切る。左眼瞼裂傷	眼科受診
2歳児	保育室内にて他児と戦いごっこをしていたが、ポーズを決めた際に足を滑らせ転倒し持っていたブロックの剣が転倒した拍子に顔の右側にあたり下唇から出血。上の前歯のグラつきがあったため歯科受診。外傷性歯の打撲。	歯科受診
1歳児	保育室内で他児と遊んでいた際に他児が身体の上に乗し、左眼下を引っ掻き薄皮が剥け出血。左頬部皮膚欠損創。内科受診。	内科受診
4歳児	異年齢保育を行っていた際にソフト積み木の上に乗し遊んでいたがバランスを崩し転倒。上の前歯2本を床にぶつけグラつく。外傷性歯の打撲。	歯科受診
1歳児	保育室内にて他児と遊んでいた際に玩具の貸し借りでトラブルとなり顔を引っ掛かれる。顔面擦過創。	内科受診
1歳児	戸外遊びのために靴を履かせ、履き終わった本児の手を握り、散歩カートへ移動しようとした際に左手首の痛みを訴える。左肘内障。	整形外科受診
0歳児	保育室内にて体操を行っていた本児が室内に設置しているパーテーションの方向へ走り出し足がもつれ転倒。木の枠に前頭部をぶつけた。前頭部打撲。	整形外科受診
1歳児	保育室から他の部屋に移動した際に保育者と手を繋いでいた本児が左手首を押さえ痛がった。左肘内障。	整形外科受診
5歳児	戸外遊びでかくれんぼをしていた本児が木の陰から逃げる際に木の枝に左目まぶたをぶつけ切る。	眼科受診

上記について、同じ事故を起こさぬよう、また新たな事故を起こさぬように、施設整備・保育環境の見直しを行いながら、職員一人ひとりが意識を高く持ち、安心安全の保育環境整備に努めて参ります。

√ 給食部門報告

【令和5年度の目標】

楽しく食べる経験を深め、『食を営む力』の基礎を培う。

安全・衛生的で、園児に喜んでもらえる食事の提供を目指す。

また、食育活動を通して食に興味を持てる環境を作り、好きな食べ物が一つでも増えるようにする。

【概要】

① 安全・衛生的な食事を提供する。

厨房業務の管理を行う。

給食時、保育室へ喫食状況の観察に行き、個々の喫食状況や好みを知る。

② “食べること”に興味を持てるよう、季節に合わせた食材や、献立の検討を行い、食事を提供する。

食育活動においては、子どもたちが食に興味を持てる活動を検討し、実施する。

喫食状況や、活動の反省を踏まえて給食会議を開催する。

また、個別での配慮が必要な離乳食児、アレルギー児については、給食室・担任・施設栄養士で必要に応じて会議を行い、変更点を周知する。

【実施内容】

• 栄養管理

毎月の発育測定の数値を把握し、カウプ指数・成長曲線の作成を行い、担任と共有している。肥満・やせを把握し、担任及び看護師と経過を観察し、必要時には働きかけを行った。

年2回、性別・年齢・発育測定値及び食事摂取基準をもとに、3歳未満児と3歳以上児で給与栄養目標量を設定し、献立作成の基準とした。

• 食育活動

年齢に応じた食育活動計画書を作成し、活動を実施した。食材と触れ合う活動や、栽培活動、保健活動、食事のマナーや食具の使い方など、子どもたちの興味のあることや、課題などを担任と情報共有しながら活動内容を検討し、実行した。

活動実施後、活動が年齢にあっていたか、活動に興味を持っていたかなど、子どもたちの様子を踏まえて反省を行った。

(食文化に触れる)



(保健活動)



(食材に触れる)



- **イベント食**

毎月の誕生会、行事食の提供を行った。
異年齢の交流を深めた食事会を開催した。
季節感のある食事の提供を積極的に行った。

- **喫食状況の把握**

食事の際は、喫食状況や離乳食児の食材の大きさなどを確認した。
離乳食児は家庭での食事の様子を、保護者から聞き取り連携しながら形態段階を進めた。
子どもたちが苦手なメニューや食材については、少しでも食べられるよう調理方法や組み合わせについて検討した。
子どもたちの食事のマナーについてアドバイスを行った。

- **安全な食事に向けて**

離乳食・アレルギー食の誤配を防ぐため、配膳前のチェックを行った。
離乳食児は、食事形態の相違がないかの確認も行った。
誤配を防ぐため、的確かつ簡素化した指示書の作成を行った。
アレルギー児の周知と、アナフィラキシー症状について周知・理解に努めた。

【時期に向けての課題】

- 食や食材に興味を持ち、食事の時間が楽しいと思えるような活動を企画する。
- アレルギー児の対応、周知の徹底を行う。

vi 防災・避難訓練

月	行事内容	活動内容
4月	避難訓練	火災を想定し、保育士の側に集合（保育室入口まで避難）
5月	避難訓練	火災の合図で担任のもとに集まり指示に従って行動する
6月	避難訓練	地震が起きた際の避難の仕方を知る
	不審者対応訓練	不審者への対応や避難の際の合言葉等を職員同士で周知する
7月	避難訓練	保育士の声かけに反応しおやつや玩具に気をとられないで避難する
	浸水避難訓練	大雨が降ったことを想定し垂直避難を実施する
8月	不審者対応訓練	園内に不審者が現れた際の手順を把握し、落ち着いて行動する
	避難訓練	早朝に近隣より出火したことを想定し避難をする
9月	避難訓練	夜間避難訓練
	避難訓練	土曜保育時の避難の仕方を知る
10月	避難訓練	二次避難場所を知る
11月	総合避難訓練	消防署の方に避難の仕方等見てもらい講評を受ける。
12月	避難訓練	担任以外の先生の指示に従って避難する
	不審者対応訓練	玄関より不審者が現れた際の対応、避難を知る。
1月	避難訓練	朝の時間帯避難訓練の目的を知る
2月	避難訓練	火災を想定し、保育士の側に集合（非常口まで避難）
3月	避難訓練	三次避難場所を知る
	Jアラート避難	Jアラート発令に伴い、屋内に避難。警報解除まで待機をする

vii 職員配置

施設長	1人
主任保育士	1人
保育士	24人（常勤：21人 非常勤：3人）
栄養士	2人（常勤：1人 非常勤：1人）
看護師	3人（常勤：2人 非常勤：1人）
嘱託医	1人
嘱託歯科医	1人

【鹿野なないろ保育園】

○事業報告概要

令和5年度は、適正な人員配置のもと、のびのびとこころ豊かな人間に成長・発達することを支援し、保護者に安心して預けられるように、一人ひとりの思いを汲み取った上で共感していくという丁寧な保育を職員全員で心掛けた。

感染症対策を徹底し、遠足は園児のみの参加、運動会・生活発表会は人数制限や時間を分け保護者参加型にし、その他の行事も本来の形を取り戻しながら、子どもたち・保護者に満足していただけるよう実施した。

I. 実施状況

i 保育事業

- 1) 通常保育事業（月～土 7時～18時実施） 定員90名（最大受入数108名）
- 2) 延長保育事業（月～金 18時～20時・土 18時～19時実施）
- 3) 一時預かり保育事業（月～土 7時30分～18時実施）

ii 給食部門

- 1) 食育活動
- 2) 衛生管理の徹底
- 3) アレルギー対応の徹底

iii 看護部門

- 1) 日々の健康管理および健康指導
- 2) 保健だよりの作成
- 3) 内科健診・歯科検診

iv 防災部門

- 1) 防災・避難訓練（毎月）
- 2) 不審者対応訓練（年2回）

√年間行事 ※身体測定、防災・避難訓練は毎月実施 ☆…保護者参加行事

月	日	行 事	対 象	内 容
4月	1(土)	☆入園進級式・クラス懇談会	全園児	入園・進級したことを喜ぶ
	19(水)	内科健診	全園児	内科健診
	28(金)	こどもの日会	2～5歳児	製作を披露したり歌ったりして祝う
5月	22(月)	交通安全教室	4・5歳児	財団交通課を招いて道路の渡り方等を学ぶ
	26(金)	遠足	4・5歳児	バスで動物園に行き楽しみ、お弁当を食べる
6月	2(金)	歯科検診	全園児	歯科検診
	7(水)	龍 ゲーム大会	4・5歳児	ご当地ライダーを派遣し、ゲーム大会を楽しむ
	13(火)	☆保育参観	3歳児	親子で写真立て製作
	14(水)	☆保育参観	4歳児	親子でカエルシューティング製作
	15(木)	☆保育参観	5歳児	親子で紙コップ飛行機製作
7月	7(金)	七夕まつり	1～5歳児	2階保育室に出店を設置し、お祭りの雰囲気を楽しむ
9月	16(土)	☆運動会	全園児	小学校体育館にて2部制で各クラスかけっこやおゆうぎ、リレー等を行う
10月	31(火)	ハロウィンパーティー	全園児	自分で作った飾りを身に付け各コーナーで楽しみながらおやつをもらう
11月	15(水)	内科健診	全園児	内科健診
12月	2(土)	☆生活発表会	全園児	入替制で歌や表現遊び、劇ごっこ等各年齢に合ったものを表現する
	25(月)	クリスマス会	全園児	製作を披露し、歌を歌い、サンタさんから届いたプレゼントに喜ぶ
1月	16(火)	☆保育参観	0歳児	親子でお面製作、体操を楽しむ
	17(水)	☆保育参観	1歳児	親子で福笑い、サーキットで体を動かす事を楽しむ
	18(木)	☆保育参観・懇談会	2歳児	親子でコマ製作を楽しむ
	19(金)	☆懇談会	5歳児	進級・進学に向け話し合いを行う 子育ての悩み等を共有する
2月	2(金)	豆まき会	全園児	豆まきを行う
3月	1(金)	ひな祭り会	全園児	製作を披露したり歌ったりして祝う
	16(土)	☆卒園式	5歳児	園生活を振り返り新たな門出を祝う
	26(火)	お別れ会	3歳以上児	お別れする友達に感謝の気持ちを伝える

※毎月誕生会を開催。以上児・未満児に分かれて誕生児をお祝いする

II. 施設運営管理

i 会議等

月	内 容	月	内 容
4月	定例会議（全体・未満児・以上児）	10月	定例会議（全体・未満児・以上児）
5月	定例会議（全体・未満児・以上児）	11月	定例会議（全体・未満児・以上児）
6月	定例会議（全体・未満児・以上児）	12月	定例会議（全体・未満児・以上児）
7月	定例会議（全体・未満児・以上児）	1月	定例会議（全体・未満児・以上児）
8月	定例会議（全体・未満児・以上児）	2月	定例会議（全体・未満児・以上児）
9月	定例会議（全体・未満児・以上児）	3月	定例会議（全体・未満児・以上児）

ii 研修等

1) OJT 研修

月	研 修 内 容	参加人数
4月	ミルクの作り方、おむつ交換の仕方、SIDS チェック表の記入の仕方について	4名
	日誌の記入の仕方について	15名
	リスクマネジメントについて	6名
	薬の取り扱い、熱性痙攣について	23名
	アレルギー食、離乳食について	23名
5月	指導計画の書き方について	1名
	嘔吐処理について	10名
	食育について	23名
6月	水遊びについて	8名
	AED機器講習	24名
7月	保護者支援、子育て支援について	14名
	特別支援保育について	13名
8月	幼児教育について	7名
	保育経過記録の書き方について	5名
9月	遊びの環境作りについて	8名
10月	リトミックについて	5名
11月	乳児保育について	11名
12月	感染症について	7名
1月	防災について	8名
2月	全体的な計画見直し	6名
3月	年間反省	24名

2) 外部研修

月	研修内容	参加人数	研修内容	参加人数
5月	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修①(初級)	1名	乳児保育研修Ⅰ	1名
	乳児保育研修Ⅱ	1名	看護職員連絡会	1名
	新人保育士合同研修	1名	保育所長研修	1名
	初任保育士研修Ⅰ	1名	初任保育士研修Ⅱ	1名
6月	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修②(初級)	1名	主任保育士会	1名
	施設長研修	1名	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修③(初級)	1名
7月	特別支援保育研修(キャリアアップ)	1名	幼児教育担当者研修(キャリアアップ)	1名
	保護者支援・子育て支援研修(キャリアアップ)	1名	太白区保育士研修	1名
	中堅保育士研修	1名		
8月	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修④(初級)	1名	ｱﾝｶﾞｰﾏﾝｼﾞﾝｸﾞ研修	1名
	幼児教育研修①(キャリアアップ)	1名	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修①(ﾌｵﾛｰｱｯﾌﾟ)	1名
	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修⑤(初級)	1名	幼児教育研修②(キャリアアップ)	1名
9月	園長研修	1名	新任保育士研修	1名
	栄養士研修	1名	主任保育士研修	1名
	民間主任保育士研修	1名	ｱｰﾙ・運営支援課合同基礎研修	1名
	栄養士研修	1名	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修⑥(初級)	1名
10月	太白区保育士研修	1名	食育・アレルギー対応研修①(キャリアアップ)	1名
	幼児教育研修③(キャリアアップ)	1名	講演会	2名
11月	食育・アレルギー対応研修②(キャリアアップ)	1名	中堅保育士研修	1名
	主任保育士研修	1名	講演会	3名
	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修⑦(初級)	1名	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修②(ﾌｵﾛｰｱｯﾌﾟ)	1名
	主任保育士研修	1名	施設長研修	1名
12月	食育・アレルギー対応研修③(キャリアアップ)	1名	保健衛生・安全対策研修①(キャリアアップ)	2名
	初任保育士研修	1名	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修⑧(初級)	1名
	施設長研修	1名	看護職員連絡会	1名
	中堅保育士研修	1名		
1月	保健衛生・安全対策研修②(キャリアアップ)	1名	施設長研修	1名
	給食施設研修	1名		
2月	民間主任保育士会	1名	私立保育園栄養士研修	1名
3月	民間園長会	1名		

iii 施設見学・職場体験・実習生の受け入れ

感染症予防対策のため受入れなし

iv 事故件数

保育中の怪我による通院件数 … 1 件

年 齢	怪我の内容	対 応
1 歳児	午後おやつ後に移動する時、足が椅子に引っかかり転倒し、左眼が腫れる。左眼瞼裂傷。	眼科受診

上記について、同じ事故を起こさぬよう、また新たな事故を起こさぬように、施設整備・保育環境の見直しを行いながら、職員一人ひとりが意識を高く持ち、安心安全の保育環境整備に努めて参ります。

v 給食部門報告

【令和 5 年度の目標】

- 安全で衛生的な食事の提供を維持する。
- 食育活動を充実させ、子どもの食に対する興味・関心を高める。
- 季節感のあるメニューやイベント食を食べやすく、子どもが楽しめるものに改善する。
- 食育目標：食事を楽しみ、食への興味・関心を高め、心身ともに健康を保つように働きかけを行う。

【概要】

- ① 安全かつ衛生的な食事を提供することができるよう、厨房業務の管理を行う。
個別での配慮が必要な離乳食児、アレルギー児においては、保護者から家庭での食事の様子を聞き取り、給食室・担任・施設栄養士で必要に応じて話し合い、情報を周知する。
- ② 食育活動においては、子どもたちが食に興味・関心を持てる活動を検討し、実施する。
安全面を考慮しながら、様々な食体験を通して食への興味・関心を高める。
- ③ 保育室へ喫食状況を観察に行き、個々の喫食状況や、嗜好の傾向を確認する。
喫食状況は、保育室の巡回や、保育士への聞き取りを行う。
食べることに興味を持てるように季節に合わせた食材や料理の検討を行い、食事を提供する。

【実施内容】

- 安全な食事に向けて
給食委託業者の担当と密に情報共有を行い、安全かつ衛生的な給食の提供に努めた。
離乳食やアレルギー食の誤配を防ぐため、献立作成時に委託側と施設側で二重に内容を確認し、配膳前のチェックを行った。
離乳食では、食事形態があっているか咀嚼や嚥下が出来ているのか確認し、一人一人に合わせた食事の提供を心掛けた。発達に応じた食事が提供できるように保護者に声かけを行い、保育士と連携しながら離乳食を進めていった。
また、食物アレルギーについて園内研修を行い、園児の状況や対応について周知した。

• 喫食状況の把握

食事の際は、喫食状況や離乳食児の食材の大きさなどを確認し、苦手なメニューや食材については、食べさせる時の声掛けを工夫したり、取り入れるメニューを変えたりして対応した。また、少しでも食べやすくなるように給食会議で話し合い献立に反映させ、食べ慣れているメニューを中心に献立を作成した。

• イベント食

毎月の誕生会、行事食の提供を行った。

誕生会メニューでは、その月の誕生児には名前入りのクッキーを付けて提供した事で、より特別感を味わえるようにした。

行事食では食べやすい子ども達が好むメニューを選び、盛り付けの工夫を行い、喜んで食べられるものを取り入れた。

また、絵本に出てくる食事を再現した「絵本給食」も取り入れ、子どもが楽しみにするような食事提供を心掛けた。



図1.運動会メニュー



図2.節分メニュー



図3.絵本給食「しろくまカレー」

• 食育活動

食育活動を通して、食への興味・関心だけでなく、自分で作る喜びや友達と協力する楽しさなども感じられるような活動を取り入れた。

食に関するマナーとして、食具の持ち方や、食べる時の姿勢、三角食べなど年齢に応じた食育活動を行った。

プランター栽培では、春・秋の2回、ミニトマトやピーマン、小松菜やほうれん草など、季節に合った旬の食材の栽培を行った。収穫したものは給食に取り入れてもらい、採れたての野菜の味や食感を味わえるようにした。

クッキング活動では子ども達の意欲を引き出せるよう工夫をした。クリスマスケーキやパン作りなど、一人ずつ作るものから、カレーや芋煮作りなど、子ども達同士で協力をして完成させるものも実施した。その場で給食室の先生に調理してもらい、自分たちで作った喜びや友達と協力する楽しさを感じられるようにした。



図4.カレー作り



図5.パン作り



図6.クリスマスケーキ作り

【今後の課題】

- ・安全・衛生的な食事の提供を維持する。
- ・月齢やクラスの状況に合わせ、感触遊びや栽培活動、クッキング活動を充実させる。

食育実施記録

月	食育内容	対象(参加人数)	食育内容	対象(参加人数)
4月	ピーマンの苗植え	2歳児(17名)	ミニトマトの苗植え	3歳児(22名)
	三食食べ	5歳児(17名)		
5月	オクラの種まき	4歳児(16名)	いんげん、枝豆の種まき	5歳児(17名)
	食事のマナー	3歳児(18名)	サラダ作り	5歳児(16名)
	正しい箸の持ち方	4歳児(20名)		
6月	カレー作り	5歳児(17名)	野菜スタンプ	5歳児(17名)
	サンドイッチ作り	4歳児(19名)		
7月	とうもろこしの皮むき	2歳児(16名)	正しい箸の持ち方	3歳児(14名)
	魚の姿	4歳児(19名)	魚の姿	5歳児(14名)
	トマトソース作り	3歳児(19名)		
8月	ずんだ作り	5歳児(15名)	シャーベット作り	4歳児(10名)
	野菜スタンプ	2歳児(16名)		
9月	スプーン・フォークの持ち方	2歳児(12名)	ブロッコリーの苗植え	5歳児(13名)
	ほうれん草の種まき	4歳児(20名)	梨とりんごの違い	3歳児(22名)
	小松菜の種まき	3歳児(22名)	野菜スタンプ	4歳児(19名)
	ふりかけ作り	5歳児(16名)		
10月	ほうれん草と小松菜の違い	5歳児(12名)	きのこほぐし	1歳児(14名)
	スイートポテト作り	4歳児(19名)		
11月	ふりかけ作り	4歳児(18名)	小松菜のカレー炒め	3歳児(22名)
	だしの飲み比べ	5歳児(13名)		
12月	食事のマナー	2歳児(16名)	正しい箸の持ち方	3歳児(20名)
	小麦粉粘土	2歳児(16名)	クリスマスケーキ作り	4歳児(19名)
	クリスマスケーキ作り	5歳児(16名)	だしの飲み比べ	4歳児(15名)
	野菜の観察	5歳児(13名)		
1月	七草の観察	5歳児(11名)	乾物の観察	3歳児(20名)
	ふりかけ作り	3歳児(20名)	食材かるた	4歳児(19名)
	白菜ちぎり	1歳児(16名)	芋煮作り	5歳児(15名)
2月	のりまき作り	4歳児(18名)	バレンタインクッキー作り	5歳児(14名)
	ラップおにぎり作り	2歳児(16名)	三色食品群	5歳児(14名)
3月	正しい箸の持ち方	2歳児(15名)	野菜の話	3歳児(16名)
	パン作り	4歳児(15名)	パン作り	5歳児(15名)

vi 避難訓練実績報告

実施日	設定	内容	避難場所	時間	参加人数
4月24日	地震(震度4)	避難	各保育室	10:08~	117名
5月10日	地震(震度4)	避難	園庭	10:10~	123名
6月21日	地震(震度4)	避難	園庭	10:10~	107名
7月10日	地震(震度4)	避難	園庭→鹿野3丁目公園	9:55~	115名
8月9日	火事 近隣より出火	避難	各保育室	11:35~	92名
9月15日	火事 近隣より出火	避難	つきぐみ保育室	11:35~	16名
9月26日	水害	避難	ホール	10:30~	122名
10月12日	火事(総合)	避難・通報訓練	園庭	10:00~	126名
11月2日	地震(震度6)	避難	園庭→長町南小学校	10:30~	118名
12月5日	火事 近隣より出火	避難	ほしぐみ保育室	7:30~	13名
12月12日	Jアラート	避難	園舎内	10:00~	92名
1月13日	火事 近隣より出火	避難	園庭	10:00~	14名
1月23日	不審者	避難	ホール	10:00~	114名
2月8日	地震(震度4)	避難	園庭	15:05~	111名
3月11日	火事 給食室より出火	避難	園庭	10:00~	122名

vii 職員配置

施設長	1人
主任保育士	1人
保育士	22人 (常勤:18人 非常勤:4人)
栄養士	1人 (常勤:1人)
看護師	1人 (常勤:1人)
嘱託医	1人
嘱託歯科医	1人

【榴岡なないろ保育園】

○事業報告概要

令和5年度は、適正な人員配置のもと、のびのびと心豊かな人間に成長・発達することを支援し、保護者が安心して預けられるように、一人ひとりの思いを汲み取った上で共感していくという丁寧な保育を職員全員で心掛けた。

行事等においては、感染症対策を講じながら、保護者の方々が子どもの成長を感じられるように、また、満足していただけるようにと可能な範囲で実施した。

I. 実施状況

i 保育事業

- 1) 通常保育事業（月～土 7時～18時実施） 定員56名（最大受入数66名）
- 2) 延長保育事業（月～金 18時～20時実施）

ii 給食部門

- 1) 食育活動
- 2) 衛生管理の徹底
- 3) アレルギー対応の徹底

iii 看護部門

- 1) 日々の健康管理および保健指導
- 2) 歯科検診診査、健康診断
- 3) 保健だよりの作成

iv 防災部門

- 1) 防災・避難訓練（毎月）
- 2) 不審者対応訓練（年2回）

√年間行事 ※誕生会、身体測定、防災・避難訓練は毎月実施

月	保護者参加行事	保育園内行事	備 考
4月	入園式	健康診断	◎入園式は保護者2名、0歳児・1～3歳児の2部制で時間帯と部屋を分けて行う。 落ち着ける環境を整えたことで終始和やかな雰囲気の中で行うことができた。
5月	保育参観・懇談会 (全クラス)	子どもの日の会	◎保護者1名参加。未満児と以上児、日程を分けて行う。親子で楽しい時間を過ごし、保護者同士交流や育児の情報交換等を行う。
6月		歯科検診診査	
7月	夏祭り	水遊びの会 七夕会、誕生会	◎今年の夏祭りのテーマは「ジブリ」 装飾はもちろんのこと各コーナーもジブリにちなんだものを企画、親子でジブリの世界観を味わうことができ、思い出に残る祭りとなる。また、5歳児がトトロ神輿、4歳児がトトロ太鼓、3歳児が旗神輿を作り近隣や園庭を歩き祭りを盛り上げた。
9月	運動会(1,2歳児) →園庭 運動会 (3,4,5歳児) →生涯学習支援センター内体育館		◎1,2歳児は保護者1名参加、園庭で行う。 入れ替え制にしたことといつも遊んでいる場所のため、子ども達は終始笑顔で競技に参加、親子で楽しい時間を過ごすことができたとの感想が寄せられた。 以上児は初めて園外で行う。様々な技に挑戦し、自分の力を十分に発揮することができた。子ども達の表情はとても輝いていた。保護者からも「子どもの成長を感じた」「親子で楽しめた」と好評。
10月		バス遠足 (4,5歳児) 健康診断 ハロウィンパーティー	◎開園4年目、初めてバスに乗って動物園に行く。 動植物を観察して感じた事、見たこと等を友達や先生と伝え合い楽しむ姿が見られた。また、青空の下、食べたお弁当は格別に美味しかったようで完食する子が多かった。その後、遠足での経験が遊びや製作の中に反映させる等遠足の余韻を楽しんでいた。 ◎ハロウィンパーティーでは園全体をハロウィン風の装飾にして雰囲気を作る。以上児はみんなで1つの大きなケーキを作るという指令があり、未満児クラスに材料を探しに行く等交流を楽しむ姿も見られていた。当日、集めた材料で大きなケーキを作り上げると、期待以上の出来栄に子ども達は満足そうだった。
11月	生活発表会 (0～2歳児) →平日3日間に分け、園内で実施 保護者2名参加	交通安全教室 (5歳児)	◎交通安全教室では交通ルールや横断歩道の渡り方について改めて再確認することが出来た。 ◎未満児生活発表会では、引き続き感染症対策を講じながら開催。日常の様子や子どもの成長等を感じることができたと保護者の方も喜んでいました。
12月	生活発表会 (3,4,5歳児) →駅東交流センターで実施	クリスマス会	◎子ども達の成長や頑張っている姿を見てもらいたいという思いがあり、人数制限は設けずに開催。 4歳児は直前に感染症が流行し開催が危ぶまれたが何とか実施することができた。5歳児は自分達で考えたオリジナル劇を発表する。完成度が高く「感動した」「良かった」という声がたくさん寄せられた。 ◎クリスマス会は2部制で実施。 サンタが登場すると年齢によって反応は様々だったが、代表の子がプレゼントを受け取ると笑みがこぼれ、早速その日の夕方は頂いた遊具で楽しく遊ぶ姿がたくさん見られた。
1月	保護者懇談会		◎進級や就学に向けて話をする機会を設けたことは保護者の方の安心感にも繋がりが良かった。 おやつ提供も好評
2月		豆まき会	◎0,1歳児には恐怖心を与えたくないという思いから段ボールで作った3体の鬼を倒すことに!!遊びの延長で楽しく終える。2～5歳児は自分の中の鬼をやっつける、というね

			らいのもと泣きながらも豆を投げる等友だちと力を合わせ頑張る姿が見られた。
3月	卒園式 →仙台東交流センター	ひなまつり会、 ひなまつり感謝祭 (5歳児のみ) お別れ会 大きくなった お祝い会	◎卒園式は手作りで暖かい雰囲気大切にしたいという思いを大切に、子ども達が手がけた装飾や花束などを飾る。保護者の方々からは「気持ちのこもったいい式だった」と好評。 ◎今年度も成田山に招待され5歳児のみバスで行く。最後にいい思い出が作れて良かった。 ◎お別れ会ではお別れを惜しむ気持ちや感謝の気持ちを持って参加する姿が見られた。行事食も好評 ◎大きくなったお祝い会では1年の成長を全体でお祝いしたり出来るようになったことを披露したりすることで進級に向けて、子ども達の期待や楽しみがさらに膨らんでいった。

※行事の様子等は、写真を掲示したり連絡ノートや降園時に伝えたりしながら、子ども達の様子が分かるようにしている。

II. 施設運営管理

i 会議等

月	内 容	月	内 容
4月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）	10月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）
5月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）	11月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）
6月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）	12月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）
7月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）	1月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）
8月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）	2月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）
9月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）	3月	定例会議（全体・未満児・以上児・リーダー）

ii 研修等

1) OJT 研修

月	研 修 内 容	参加人数
4月	人権擁護、食育関連、安全対策、薬やフッ化物の取り扱い等について	全職員
	リスクマネジメントについて	新入職員3名
	保護者支援・子育て支援について	16人
5月	AED 講習	18人
6月	嘔吐処理について	9人
	ケース会議について	9人
7月	エピソード会議①	14人
8月	隙間時間も楽しく	7人
	防犯講座の研修	13人
9月	ケース会議	6人
	リズム体操	11人
10月	絵本の魅力について	11人
11月	食との関わりについて	9人
12月	イキイキと遊べる環境づくり	9人
	ケース会議	7人
1月	エピソード会議②	12人
2月	ケース会議	7人
	全体的な計画、食育、保健計画の見直し（共有、確認）	全職員
3月	児童の処遇について	全職員

2) 外部研修

月	研修内容	参加人数	研修内容	参加人数
5月	保育所長研修	1名	ハラスメント研修	2名
	ICT研修(初級)①	1名	看護職員連絡会	1名
	新人保育士向け合同研修会	1名		
6月	初任保育士研修Ⅰ	1名	主任保育士研修Ⅰ	1名
	主任保育士研修Ⅱ	1名	北欧の幼児教育について	1名
	マシント研修①(キャリアアップ)	2名	乳児保育研修Ⅱ	1名
	保育士加I	1名	ICT研修(初級)②	1名
7月	連合会主催全体研修会	1名	乳幼児・子どもの睡眠・ネットの長時間、不適切使用による健康障害	1名
	2023みやぎ保育士加I	1名	マシント研修②(キャリアアップ)	2名
	保護者支援・子育て支援研修①(キャリアアップ)	2名	特別支援保育研修	1名
	中堅保育士研修	1名	保育所施設長研修会	1名
8月	主任保育士研修Ⅱ	1名	ICT研修③(初級)	1名
	ICT研修①(フォローアップ)	1名	幼保小研修会	1名
	食物アレルギー研修	1名	マシント研修③(キャリアアップ)	2名
	幼児教育研修①②(キャリアアップ)	1名	アロママシント研修	1名
9月	保育所長研修Ⅱ	1名	ICT研修④(初級)	1名
	ICT研修②(フォローアップ)	1名	幼児教育研修③(キャリアアップ)	1名
	初任保育士研修	1名	コミュニケーション技術・対人援助研修①	1名
	児童虐待防止ネットワーク会議	1名	宮城野区食育情報交換会	1名
	連合会主催栄養士会研修	1名	アレル・運営支援課合同基礎研修	1名
10月	社会福祉法人施設職員・中堅職員研修	1名	乳児保育研修①(キャリアアップ)	2名
	保健衛生・安全対策研修①(キャリアアップ)	1名	保護者支援・子育て支援研修②(キャリアアップ)	1名
	幼児教育研修④(キャリアアップ)	1名	主任保育士会研修	1名
	就学児施設行方不明・見失い事故防止のリスクマシント研修	1名	コミュニケーション技術・対人援助研修②	1名
11月	保育士の離職防止対策セミナー・保育所等のリスクマシント研修	1名	手作りおもちゃを作ろう	1名
	所長研修	1名	中堅保育士研修	1名
	実践に活かす感覚統合	1名	乳児保育研修(キャリアアップ)	2名
	保健衛生・安全対策研修②(キャリアアップ)	1名	保護者支援・子育て支援研修③(キャリアアップ)	1名
	チーム対応研修	1名	ICT研修⑤(初級)	1名
	初任保育所長研修	1名	ICT研修③(フォローアップ)	1名
	保育従事者並びに保育所委託医研修	1名		
12月	乳児保育研修(キャリアアップ)	2名	保護者支援・子育て支援研修④(キャリアアップ)	1名
	保健衛生・安全対策研修③(キャリアアップ)	1名	保育者向け食物アレルギーセミナー	1名
	保育施設安全管理研修	1名	臨時看護職員連絡会	1名
	ICT研修⑥(初級)	1名		

1月	就学前 KIT セミナー	1名	保護者支援・子育て支援研修⑤(キャリアアップ)	1名
	相談・支援研修「現代の子育てと家庭に対する相談支援のあり方」	1名	社会人としての対応について	2名
	栄養士研修	1名	仙台市保育所連合会民間主任保育士研修	1名
2月	主任保育士研修	1名	連合会主催園長研修	1名
	小学校との接続 ～幼児教育と小学校をつなぐ取り組み～	1名	給食施設事例発表研修	1名
	児童虐待防止推進養成研修	1名	子ども興味・関心を広げるために	1名

※外部研修はオンラインと集合型を選択できるハイブリット形式での参加だった。

経験に応じた研修に参加することで、職員が学びや知識を深めることができた。

また、全体的に保育の質向上を図る為研修で学んだことは会議や昼礼の時間を使って職員に報告するようにしている。

園内研修では経験年数に応じた内容や実践形式のものを取り入れることで、職員同士のコミュニケーション、他の職員の考えや意見等を知る機会にもなり、良かったとの意見が多かった。

次年度も継続していきたい。

iii 事故件数

保育中の怪我による通院件数 … 6件

年齢	怪我の内容	対応
5歳児	夕方合同保育中に友達の頭が顎にぶつかり前歯左側を脱臼	歯科受診
5歳児	給食後足を滑らせ転倒。口腔内を受傷	歯科受診
2歳児	園庭遊びの際に砂をかけられ、砂が目に入る	眼科受診
3歳児	食育活動中に椅子に座っていてバランスを崩し転倒。口腔内を受傷	歯科受診
1歳児	園庭遊びの際に、横歩きをしていてバランスを崩し転倒。上唇を裂傷。3針縫う	形成外科受診
5歳児	クラス活動中に転倒。口腔内を受傷	歯科受診

上記について、同じことが起こらないよう、また新たな事故を起こさないように、施設整備・保育環境の見直しを行いながら、職員一人ひとりが意識を高く持ち、安心安全を第一に考えた保育環境整備に努めていきたい。

iv 給食部門報告

【令和5年度の目標】

- ① 安全かつ衛生的で、食べることを楽しんでもらえる食事を提供する。
- ② 離乳期だけでなく、保護者支援を充実させる。
- ③ 食育目標『楽しく食べる経験を深め、食を営む力の基礎を培う』を達成できるよう、1年後もしくは幼児期の終了までに獲得したい10の姿を見据えた見通しをもち、食育活動を実施する。特に、制限緩和に伴い食育活動の幅を広げ、経験・体験を内容に盛り込む。

【目標達成のための取り組み】

- ① 安全かつ衛生的な食事提供について、ヒヤリハット発生時や人員の変化など事象が起こった都度、給食委託業者と検討し、会議等で話し合い、対応した。
離乳期の子どもについては、個々の状況を保護者および担任と情報共有し、提供した。食物アレルギーについては、看護師による園内研修を行ったほか、園児の状況や対応を職員間で情報共有し、誰でも同様の対応が取れるよう周知した。
また、離乳食や食物アレルギーにまつわる給食提供の事故などがニュースに取り上げられた際には、重要なことをふりかえる契機として、職員や休職委託業者に周知徹底した。食べることを楽しんでもらえる給食について、絵本給食を継続して実施した。今年度は苦手な子が多い野菜を取り上げた絵本を多く設定し、「ひと口頑張ってみようかな？」という気持ちを応援できるようにした。また、今年度5歳児のクラステーマが『世界』ということもあり、世界の給食を取り入れたほか、今年度より発足した系列園の栄養士会議で共有した新しいメニューや既存メニューの改善アイデアを取り入れた。
- ② 離乳の支援として、継続し毎月個別に食材の練習がすすめられるようレシピの提供や、コメントを記載した。また、保護者の個別相談にも応じた。
今年度、初めて1月の保護者懇談会後に、午後のおやつと一緒に食べる試食会を開催し、レシピを配付した。実際に食べていただくことで給食への理解が深まり、食事に関する悩みの共有などを聞いたりする、いい機会となった。
- ③ 1年後もしくは幼児期の終了までに獲得したい10の姿を見据えた見通しを、担任と共有し、そのために必要なことは何か？という視点で、食育活動を構成した。
新型コロナウイルス感染症が5類となり制限緩和していく中で、クッキング活動も差し替えを行わずに実施するようになった。感染対策は引き続き行い、これまで実施を控えていたパンやうどん作りを今年度は実施することが出来た。

【食育活動実績】

実施月	内容	対象児	内容	対象児
4月	世界の料理を知ろう ～タイ：文化や食材、料理を知ろう～	5歳児		
5月	世界の料理を知ろう ～カナダ：火おこしとスモア作り～	5歳児	ピーマンの苗植え	3歳児
	枝豆・ミニトマトの苗植え	4歳児	きゅうり・里芋の苗植え	5歳児
	おにぎりを作ろう	3歳児	お弁当につめよう ～盛り付けの練習～	4歳児 5歳児
6月	プルベリージャム作り ジャムを使ってかたつむりサンド作り	4歳児	たまごの不思議 世界の料理を知ろう ～ポルトガル：エッグタルト作り～	5歳児
7月	はしを使ってみよう！	3歳児	ピーマンの収穫	3歳児
	枝豆の収穫 郷土料理を知ろう～ずんだ作り～	4歳児	ミニトマトの収穫	4歳児
8月	絵本給食：すいかわりごっこ	以上児	ピーマンの収穫	3歳児
	ミニトマトの収穫	4歳児	へんしんまめまめ～枝豆が大豆に変身!	4歳児
	世界の料理を知ろう ～フランス：パン作り～	5歳児	へんしんまめまめ～枝豆・大豆の収穫～	5歳児
9月	玉ねぎの皮むきと染め物体験	2歳児	ピーマンの収穫	3歳児
	秋の味覚！スイートポテト作り	3歳児	ミニトマト作り	4歳児
	手作りふりかけでおにぎり作り	4歳児	包丁を使ってみよう ～フルーツポンチ作り～	5歳児
10月	いもほりごっこ	1歳児	絵本給食：サンドイッチ作り	3歳児 5歳児
	ピーマンの収穫と野菜スタンプ	3歳児	世界の料理を知ろう ～ドイツ：ソーセージ作り～	5歳児
11月	はつか大根の栽培	3歳児	しいたけ栽培・収穫	3歳児
	里芋の収穫 ～いろいろな数字：軽量記念日～	5歳児	里芋の収穫 郷土料理を知ろう～芋煮作り～	5歳児
12月	和食の日 ～5味とだしの飲みくらべ～	3歳児 4歳児	しいたけの収穫	3歳児
	お正月をむかえよう ～干支と鏡もち作り～	3歳児		
1月	冬野菜と仲良くなろう～キャベツ～	1歳児	給食のお手伝い♪ ～野菜ちぎりときのこさき～	2歳児
	春の七草ってなあに？	3歳児	しいたけの収穫	3歳児
	クッキー作り	4歳児	世界の料理を知ろう ～日本：かまぼこ・うどん作り～	5歳児
2月	乾物の不思議	1歳児	食事のマナーって？	3歳児
	おにぎりをにぎろう	3歳児	クレープ作り	4歳児
3月	野菜と仲良くなろう！	0歳児	もみもみスムージー作り	1歳児
	はつか大根の収穫 はつか大根の塩昆布和え作り	3歳児	いろいろな野菜食べられるかな？	3歳児
	フルーツパフェ作り	3歳児 4歳児	クレープ作り	5歳児
	卒園クッキング カルピスチーズケーキ作り	5歳児	ステンドグラスクッキー作り	5歳児

【今年度の反省と次年度の課題】

開園 4 年目となった令和 5 年度は、開園時より猛威をふるっていた新型コロナウイルス感染症の制限緩和があり、これまで実施が難しいと判断していた活動を実施できた。

また、系列園が 1 園増えたことを契機に、系列栄養士会が発足した。それにより、情報共有が活発に行えるようになり、他園での取り組みや献立を知ることができるようになった。

各園の栄養士配置は 1～2 名であり、想像性や新鮮味が乏しくなることも想定される中で、系列園があるという強みを生かし、自園に持ち帰り活動の幅を広げていきたい。具体的には、異年齢でのクッキングや系列園での交流食育活動を、来年度の初の試みとして考えている。

また、園として子ども主体の保育を重視しており、食育活動においても同様である。そのために、保育士と連携し子どもの姿やつぶやきを共有し活動内容に反映させてきた。

しかし、それを個々に行ってきたため、クローズドな情報共有となっていた。監査での指摘を受け、来年度は園内での給食会議を発足し、給食運営や食育活動について園全体で体系的に話し合っていく環境を整えていく。

今年度は 3 歳以上児の活動が中心となっていたが、食の土台づくりには 3 歳未満児へのアプローチが大事だと気づく場面があった。そのため、従来よりも 3 歳未満児対象の活動について考えていきたい。

また、年齢によらず繰り返し同じテーマの活動を行っていくことが、知識の定着をはかる上で効果があるという研修報告を受け、それも検証してみたい。

√防災・避難訓練実施

《避難・消火訓練》 ◎消火訓練は毎月1回2名ずつ実施

実施日	訓練のねらい	時間	想定	避難経路 集合場所	参加人数	
					園児	職員 (給食室)
4月25日 (火)	避難訓練の重要性を知る 揺れを感じ安全な場所に集まり、静かに放送を聞く	10:00	地震	保育士の側に集まる 落下物の恐れのない安全な場所へ避難	47	15 (3)
5月23日 (火)	地震による災害から身を守る	10:00	地震	地震発生の放送後、落下物の恐れのない安全な場所へ避難	50	14 (3)
6月28日 (水)	災害時の避難方法を知り、落ち着いて避難する。 火災避難時の約束事を子ども達と確認し、意識しながら避難する	10:00	火災	0歳児は玄関より園駐車場へ避難。 他クラスは非常階段より園駐車場へ避難。	50	15 (4)
7月25日 (火)	午睡時：安全な場所への避難の仕方を知る	14:45	地震	地震発生の放送後、落下物の恐れのない安全な場所へ避難	53	13 (3)
8月16日 (水)	浸水害の場合、避難方法、避難場所が変わることを知る	10:00	浸水害 訓練	浸水害計画に基づき、保育士の指示に従い、園内階段より遊戯室へ避難	36	10 (3)
8月22日 (火)	火災場所の違いにより、避難方法が変わることを知り、落ち着いて避難する(自由遊び時間帯)	15:45	火災 (近隣)	近隣(東側)から発生 0歳児は玄関より、他クラスは非常階段より園左側駐車場へ避難	55	19 (3)
9月25日 (月)	状況に応じた避難方法を知る 火災場所の違いにより、避難方法、避難場所が変わることを知る 消火・通報訓練(総合避難訓練)	9:45	地震 から 火災	各クラス非常階段または玄関より園駐車場へ避難し、3クラス程度集まったら榴岡小学校前の公園へ避難	53	15 (3)
10月23日 (火)	活動先、散歩時での避難の仕方を知る(園外対応訓練)	10:30	地震	建物の倒壊、落下物の恐れのない安全な場所へ誘導。その後その場に近しい安全な場所へ移動すると共に避難先を連絡する	59	13 (3)
11月21日 (火)	担任以外の指示に従って避難する(延長保育時間帯)	19:00	地震	地震発生の放送後、安全な場所に子ども達を集める。その後落下物の恐れのない安全な場所へ避難	3	4 (0)
12月26日 (火)	突然の事態になっても担任以外の保育士の指示に従って避難する(朝の合同保育時間帯)	7:30	地震	保育士の指示に従い、落下物の恐れのない安全な場所へ避難	5	4 (0)
1月23日 (火)	火災場所の違いにより、避難方法が変わることを知る	9:30	火災 (近隣)	近隣からの発生 0歳児は玄関より園駐車場へ、他クラスは園内の階段を下りて玄関より園駐車場へ避難	57	14 (3)
2月27日 (火)	これまでの避難訓練を振り返り、自然災害の危険性を知る。	10:00	地震 火災	日頃の訓練を活かし、どこにいても速やかに子どもを把握し、安全に避難 非常階段または玄関から園駐車場へ避難	56	15 (4)
3月11日 (月)	いろいろな時間帯の避難訓練を行う 避難行動を各自しっかりと身につける	14:40	地震	地震発生の放送後、安全な場所へ避難黙とうをする 防災備蓄品、防災用品確認	54	16 (3)

○一年間を通して、訓練の必要性や災害の違いによって避難の仕方が変わること等を、分かりやすく子ども達に伝えている。

※時間帯については上記時間帯を目安としながらも予告なしに実施することもあった。

《不審者侵入訓練実施》

実施日	訓練のねらい	時間	想定	避難経路 集結場所	参加人数	
					園児	職員 (給食室)
7月28日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・審者が侵入した際は、保育士が適切な対応をできるようにする。 また、子ども達は保育士の指示の元、落ち着いて避難する 	10:45	保護者と共に玄関から侵入	園内放送と共に子ども達を速やかに死角となる場所へ誘導、避難	53	15 (3)
1月19日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・第一発見地点で不審者を引き止められなかった場合の対応について、適切に対処できるようにする ・廊下にいる子ども達を適切に誘導する 	10:05	保護者と共に玄関から侵入。階段を上り、保育室に侵入しようとする	放送より異変に気付いた保育士は速やかに保育室へ子ども達を誘導し内線で知らせる。園内放送合図とともに子ども達を速やかに死角となる場所へ避難	57	15 (3)

vi職員配置

施設長	1人
主任保育士	2人
保育士	15人 (常勤:13人 非常勤:2人)
栄養士	1人 (常勤:1人)
看護師	2人 (常勤:1人 非常勤:1人)
嘱託医	1人
嘱託歯科医	1人

【中田なないろ保育園】

○事業報告概要

令和5年度は、適正な人員配置のもと、のびのびとこころ豊かな人間に成長・発達することを目指し、保護者が安心して預けられるように、一人一人の思いを受け止め、丁寧な保育を職員全員で心がけた。

5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は5類となり、行事は感染に留意した上で保護者参加の行事を行い、子ども達にも保護者にも満足できる内容を考え実施した。

I. 実施状況

i 保育事業

- 1) 通常保育事業（月～土 7時15分～18時15分実施） 定員100名
（最大受入数120名）
- 2) 延長保育事業（月～土 18時16分～20時15分実施）
- 3) 一時預かり保育事業（月～土 7時30分～18時00分実施）
- 4) 休日保育事業（日、祝日 7時15分～18時15分実施）

ii 給食部門

- 1) 食育活動
- 2) 衛生管理の徹底
- 3) アレルギー対応の徹底

iii 看護部門

- 1) 日々の健康管理および健康指導
- 2) 健康診断、歯科検診診査
- 3) 保健だより作成

iv 防災部門

- 1) 防災・避難訓練（毎月）
- 2) 不審者対応訓練（年2回）

√年間行事 ※誕生日会、避難訓練は毎月実施

月	行事内	活 動 内 容	参加クラス等
4月	入園式・進級式	入園、進級を祝い、喜び合う。	全園児親子
	健康診断	健康診断	全園児
5月	子どもの日会	各クラスで制作をしたり歌を歌ったりして祝う	全園児
	わらべうたの会	外部講師とわらべうたを楽しむ。	3歳未満児
	保育参観・懇談会	参観を通して園の様子や生活、活動を知ってもらう。	3歳以上児
	懇談会	懇談会を通して保護者と保育士が情報を共有や意見交換をする。	3歳未満児
6月	保育参観・懇談会	参観を通して園の様子や生活、活動を知ってもらう。	3歳以上児
	懇談会	懇談会を通して保護者と保育士が情報を共有や意見交換をする。	3歳未満児
	水遊び始まりの会	水遊びの約束を通して、安全に楽しめるようにする。	全園児
7月	七夕会	七夕の由来を聞いたり、短冊を書いたり歌ったりする。	全園児
	夏まつり会	夏を元気に過ごせるよう、お神輿、すすめ踊り、出店等でお祭りの雰囲気を楽しむ。	全園児
	歯科健康診査	歯科健康診査	全園児
8月	水遊び終わりの会	安全に楽しんだことを伝え合い、水遊びの遊具を片付ける	全園児
9月	お月見会	豊作を喜び合う。	全園児
10月	運動会	3歳未満児、3歳以上児2部式で行う。 かけっこ等4月から取り組んだ運動遊びの発表をする。	全園児
	サッカー教室	外部講師をよんで、サッカーを楽しむ。	4歳児・5歳児
	健康診断	健康診断	全園児
	わらべうたの会	外部講師とわらべうたを楽しむ。	3歳未満児
11月	親子遠足	バスで八木山動物公園に行き、自然の中で開放感や公共の場でのルールを学ぶ。	3歳以上児
	サッカー教室	外部講師をよんで、サッカーを楽しむ。	3歳児・4歳児
	プレ発表会	4月から取り組んだ、表現遊びを発表する。	全園児
12月	発表会	3歳未満児、3歳以上児2部式で行う。 4月から取り組んだ、表現遊びを発表する。	全園児
	わらべうたの会	外部講師とわらべうたを楽しむ。	3歳未満児
	もちつき会	由来を聞いたり、臼や杵、餅に触ってみる。	全園児
1月	保育参観・懇談会	参観を通して園の様子や生活、活動を知ってもらう。	3歳未満児
	懇談会	懇談会を通して保護者と保育士が情報を共有や意見交換をする。	3歳以上児
	サッカー教室	外部講師をよんで、サッカーを楽しむ。	3歳児・5歳児
2月	豆まき会	豆まきの由来を聞いたり、鬼の面を作ったりする。	全園児
	ごっこ遊び	お店の人になり切って、品物を作ったりやりとりを楽しむ	全園児
3月	ひなまつり会	ひなまつりの由来を聞いたり、お雛様を作ったり、歌ったり踊ったりする。	全園児
	お別れ会	卒園児をお祝いする。	全園児

	就学児体験学習	就学を楽しみ、バスの中や公共の場でのルールを学ぶ。	5歳児
	修了お祝い会	各年齢の修了をお祝いする。	全園児
	卒園式	成長を喜び合う。	卒園児親子

※身体測定は、0歳児は毎月、1歳児以上は隔月と最終月に実施。

※保育の様子は、送迎時に口頭で伝えると共に、連絡ノートの交換や、今日の保育の掲示をしている。
また、写真を掲示して、活動や行事の様子が分かるようにしている。

II. 施設運営管理

i 会議等

月	内 容	月	内 容
4月	定例会議（全体・未満児・以上児）	10月	定例会議（全体・未満児・以上児）
5月	定例会議（全体・未満児・以上児）	11月	定例会議（全体・未満児・以上児）
6月	定例会議（全体・未満児・以上児）	12月	定例会議（全体・未満児・以上児）
7月	定例会議（全体・未満児・以上児）	1月	定例会議（全体・未満児・以上児）
8月	定例会議（全体・未満児・以上児）	2月	定例会議（全体・未満児・以上児）
9月	定例会議（全体・未満児・以上児）	3月	定例会議（全体・未満児・以上児）

ii 研修等

1) OJT 研修

月	研 修 名	研 修 内 容	参加人数
4月	新年度の確認事項	管理運営要綱、保育目標の確認、個人情報取り扱い、秘密保持、救命講習、人権擁護、虐待など	25名
	記録の仕方①	日誌・連絡帳・今月の保育・今週の保育	6名
5月	記録の仕方②	養護と教育が一体になった保育	6名
	マニュアル確認	衛生マニュアル、安全マニュアル	25名
6月	特別支援保育児について	理解と支援について	18名
	遊び、活動計画①	各発達年齢に考慮した運動遊び	15名
9月	前期の振り返り	各クラスの取り組みを振り返る	25名
10月	遊び、活動計画	各発達年齢に考慮した表現遊び	15名
12月	食育について	食育目標からの食育活動の内容、食育について	15名
1月	事故・ヒヤリハット	事故・ヒヤリハットの集計より	25名
2月	後期の振り返り	後期を振り返り、各クラスでの取り組みの反省 1年のまとめ	25名
3月	次年度の計画	行事や活動の計画	25名

2) 外部研修

月	研修内容	参加人数	研修内容	参加人数
5月	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修①(初級)	1名	新任職員研修	2名
	初任保育士研修	2名	乳児保育研修	1名
	障がい児等保育研修	1名		
6月	衛生推進者養成研修	1名	看護職員連絡会	1名
	ｱｰﾙ・運営支援課合同基礎研修	1名	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修②③(初級)	1名
	初任者研修	1名	仙台市保育所連合会保育士会	1名
7月	みやぎ保育ｶｰﾈ	2名	給食担当者研修	1名
	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修④⑤(初級)	1名		
8月	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修⑥(初級)	1名	幼児教育研修①②③④(ｷﾞﾘｱｯﾌﾟ)	1名
	栄養士研修会	1名	主任保育士研修	1名
	園長研修会	1名		
9月	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修⑦(初級)	1名	乳児保育研修(ｷﾞﾘｱｯﾌﾟ)	7名
	保護者支援・子育て支援研修(ｷﾞﾘｱｯﾌﾟ)	1名	中堅職員研修	1名
10月	主任保育士会Ⅱ	1名		
11月	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修⑧⑨(初級)	1名	児童虐待防止推進員養成研修	1名
12月	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ研修⑩(初級)	1名	幼児教育研修(ｷﾞﾘｱｯﾌﾟ)	2名
	乳児保育研修(ｷﾞﾘｱｯﾌﾟ)	10名	障害児保育研修(ｷﾞﾘｱｯﾌﾟ)	1名
	ﾏｯｼﾞﾝｸﾞ研修(ｷﾞﾘｱｯﾌﾟ)	1名	保護者支援・子育て支援研修(ｷﾞﾘｱｯﾌﾟ)	1名
	食物ｱﾙﾙｷﾞｰ研修(ｷﾞﾘｱｯﾌﾟ)	1名		

iii 施設見学・職場体験・実習生の受け入れ

受け入れ期間	学校名	目的	受け入れ人数
1月29日～2月10日	東京成徳短期大学	実習	1名

iv 事故件数

保育中の怪我による通院件数 … 2件

年齢	怪我の内容	対応
3歳児	階段を降りる時、最後の一段でつまずき、床に額右をぶつけた。出血のない擦り傷と腫れが見られた。	整形外科・外科受診
4歳児	外遊び中、ボールをもって走った際、鬼ごっこをしていた児とぶつかり。尻もちをついた。その時、歯をぶつけ出血が見られた。	歯科受診

上記について、同じ事故を起こさないよう、また新たな事故を起こさないように、施設整備・保育環境の見直しを行いながら、職員一人一人が、安心安全の保育環境整備に努めて参ります。

√ 給食部門報告

【令和5年度の目標】

食育目標：楽しく食べる体験を深め、「食を営む力」の基礎を培う

安全・衛生的で、園児にとって毎日の楽しみとなる食事提供を目指す。

日々の食事を中心とした食育活動の中で、食に興味を持てる環境を作り、食への関心・意欲を高め、食を楽しむことができるようにする。

【概要】

- ① 安全で衛生的な食事提供
厨房業務の管理を行う。
個別配慮の対応（アレルギー児・離乳食・その他随時）においては、保護者への聞き取りを行い、保育士・看護師・栄養士で必要に応じて話し合い、情報の共有と周知を行う。
- ② 素材の味を活かした薄味を心がけ、季節の食材を積極的に取り入れた給食提供を行う。
また、咀嚼・嚥下機能など年齢に合わせた材料の切り方や硬さに調理する。残食・嗜好調査、給食巡回を通して検討を行う。
- ③ 子どもたちが食に興味・関心をもてるよう、行事食や食育活動を検討し、献立に取り入れ、実施する。

【実施内容】

• 栄養管理

偶数月の身体計測値をカウプ指数・成長曲線で評価。肥満・やせを把握し、担任・看護師と共有した。経過を観察し、必要時には働きかけを行った。

年2回、身体計測値及び食事摂取基準をもとに、3歳未満児と3歳以上児で給与栄養目標量を設定し、献立作成の基準とした。

• 安全な食事提供

アレルギー児・離乳期の食事提供は個別のトレイを作成し、保育士・栄養士または調理員必ず2名以上で確認を行ってからの提供を徹底した。

離乳期の食事は保護者・担任と情報共有し、個々の発達に合わせた調理を行った。

食材の納入・検品時には不備や傷みがないかを丁寧に確認し、発見した場合には各業者に連絡をし、交換・返品するなどの対応を行った。

給食従事者は体調管理を徹底し、軟便や下痢症状のある場合は給食室への立ち入りをしないなど、下処理～配膳まで、徹底した衛生管理のもと作業した。

・食育

旬の食材を積極的に取り入れ、季節の野菜や果物、魚を味わいながら、話題にして楽しめる献立作成を行った。

食育活動では、食への関心・意欲を高めることができるよう、子どもたちが興味をもっていることなどを担任と情報共有しながら活動内容を検討し、実行した。食材に触れる活動や、クッキング活動、栽培活動を取り入れ、実施後は活動が年齢にあっていたか、活動に興味を持っていたかなど、子どもたちの様子をふまえて反省・評価を行った。



図 1. 稲の栽培



図 2. 型抜きクッキー



図 3. ピザトースト

・行事食

日本の年中行事に関連した行事食を中心に、献立へ取り入れた。また、行事食に関する由来などは給食だよりに記載し、家庭でも話題にできるようにした。もちつき・鏡餅づくりや恵方巻きなど、実際に体験することで楽しみながら興味を深められるようにした。



図 4. こいのぼりハンバーグ



図 5. セタゼリー



図 6. もちつき

・喫食状況の把握

担任から喫食状況を聞き、食材の大きさやメニューの組み合わせを検討した。

【今後の課題】

- ・安全で衛生的な食事提供の継続
- ・食育活動の充実
- ・個別配慮児の周知徹底
- ・職員体制を整える

vi 防災・避難訓練実施

月	日 (曜日)	訓練のねらい	訓練方法		配慮・避難経路	参加人数	
						園児	職員
4	20(木)	・非常ベルの音を知る ・保育士のそばに集まる	10時40分	近隣火災	・非常ベルを鳴らす前に音が鳴ることを知らせる。	102	27
5	11(木)	・火災の避(避難の仕方を知る)	9時00分	近隣火災	・非常ベルを鳴らす前に「避難訓練」であることを伝える。ベルが鳴ったらどう動くかを伝える。 *クラス帽子を被り、上履きのまま園庭避難。 *人数報告。	72	18
6	13(火)	〈移動訓練〉 ・地震の避難の仕方を知る ・中田小学校へ避難の仕方を知る ※宮城県沖地震	10時00分	地震 (震度4)	保育士のそばに集合 1F:テラス→外→園庭 2F:非常階段→外→園庭	92	21
	15(木)	・Jアラートの避難訓練	10時00分	Jアラート 発令	保育士のそばに集合	88	21
7	8(土)	・合同保育時間の避難の仕方を知る (土曜日)	10時00分	火災	保育士のそばに集合 保育室出入口	18	6
	13(木)	・不審者対応避難訓練を知る	14時00分	不審者 対応訓練	職員机上訓練		25
8	9(水)	・合同保育時間の避難の仕方を知る (早朝保育時間)	7時20分	地震	保育士のそばに集合 (室内の安全な場所) 各保育室→保育室出入口	3	2
9	6(水)	・浸水避難訓練	浸水避難訓練	浸水警報	保育士の指示の元、2階へ避難垂直避難。	88	25
	7(木)	・竜巻の避難の仕方を知る	16時30分	竜巻	保育士のそばに集合 保育室の内側に避難。	64	15
10	11(水)	・合同保育時間の避難の仕方を知る (夜間避難訓練)	19時20分	近隣火災	保育士のそばに集合 保育室出入口	1	3
	19(木)	・合図を聞いて避難する (Alsok立会い)	10時15分	不審者 対応訓練	保育士のそばに集合 1F:各クラス→遊戯室 2F:各クラス→遊戯室	94	25
11	28(火)	近くの保育士のもとに集まって指示を聞き、落ち着いて避難する。	18時45分	地震	保育士のそばに集合 安全な場所へ移動。	4	2
12	21(火)	〈総合避難訓練〉 ・通報訓練 ・避難訓練 ・職員消火訓練 ・視聴覚教材視聴 ・消防自動車見学	9時50分	総合避難 訓練	保育士のそばに集合 安全な場所へ移動。	95	25
1	26(金)	どこで遊んでいても保育士のそばに集まり避難する。	11時00分	近隣火災	保育士のそばに集合 安全な場所へ	76	24
2	9(金)	どこで遊んでいても保育士のそばに集まり避難する。 ※東日本大震災	10時30分	地震 火災	保育士のそばに集合 安全な場所へ	86	22
3	8(金)	どこで遊んでいても保育士のそばに集まり避難する。	14時45分	地震	保育士のそばに集合 安全な場所へ	105	25

vii職員配置

施 設 長	1 人
主 任 保 育 士	1 人
保 育 士	29 人（常勤：25 人 非常勤：4 人）
栄 養 士	2 人（常勤）
調 理 員	1 人（非常勤）
看 護 師	1 人（常勤）
嘱 託 医	1 人（非常勤）
嘱 託 歯 科 医	1 人（非常勤）